大学コンソーシアム沖縄　第11回（令和２年度第2回）社員総会議事次第

１．日　時：令和３年２月２２日（月）１４：００～１７：００

２．場　所：琉球大学　大学本部管理棟　第二会議室（２階）〈オンライン(ZOOM)会議〉

３．開会

４．議　事	資料番号
（１）理事の選任について	資料1
（２）大学コンソーシアム沖縄 賛助会員の入会について	
①大学コンソーシアム沖縄 賛助会員入会（放送大学沖縄学習センター）	資料2－1
②大学コンソーシアム沖縄 賛助会員入会（岸本ファミリー個人慈善基金）	資料2－2
（３）大学コンソーシアム沖縄の規程整備について（案）	資料3
①大学コンソーシアム沖縄 会費に関する規程（案）	資料3－1
②大学コンソーシアム沖縄 寄附金取扱規程（案）	資料3－2
③大学コンソーシアム沖縄 文書取扱規程の一部改正（案）	資料3－3
（４）令和２年度　事業報告について	
①子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業（沖縄県委託事業）	資料4－1
②県民向け公開講座	資料4－2
③ＦＤ・ＳＤ事業	資料4－2
（ おきなわ数理・データサイエンス教育普及連絡会について ）	資料4－3
④県内大学入試説明会	資料4－4
（５）大学コンソーシアム沖縄 法人活動（案）について	資料5－1
大学コンソーシアム沖縄法人活動の新規提案について	資料5－2
（６）その他	
①地域連携プラットフォームについて	資料6
②とかしきボランティアスクールについて（案内）	資料7
③情報交換	なし

５．閉会

【配布資料】

（ 大学コンソーシアム沖縄 令和２年度 第１回 社員総会　議事録（承認済））

資料１　　一般社団法人大学コンソーシアム沖縄 理事の選任について
資料２－１　大学コンソーシアム沖縄 入会申込書（放送大学沖縄学習センター）
資料２－２　大学コンソーシアム沖縄 入会申込書（岸本ファミリー個人慈善基金）
資料３　　大学コンソーシアム沖縄 規程整備について（案）
資料３－１　大学コンソーシアム沖縄 会費に関する規程（案）
資料３－２　大学コンソーシアム沖縄 寄附金取扱規程（案）
資料３－３　大学コンソーシアム沖縄 文書取扱規程の一部改正（案）{新旧対照表}
資料４－１　子どもの居場所学生ボランティアセンター概要資料
資料４－２　大学コンソーシアム沖縄 県民向け公開講座実施状況
資料４－２　ＦＤ・ＳＤ事業実施状況
資料４－３　おきなわ数理・データサイエンス教育普及連絡会の取り組みについて
資料４－４　県内大学入試説明会について
資料５－１　大学コンソーシアム沖縄 法人活動（案）について
資料５－２　大学コンソーシアム沖縄 法人活動の新規提案について
資料６　　地域連携プラットフォームについて
資料７　　とかしきボランティアスクール案内チラシ

参考資料１　一般社団法人大学コンソーシアム沖縄 定款
参考資料２　一般社団法人大学コンソーシアム沖縄 役員等名簿

第１０回 社員総会 議事録

１．総会の種類　定時社員総会（ＷＥＢ会議）

２．日　　時　令和２年６月１９日　午後２時～午後４時５０分

３．場　　所　琉球大学　大学本部棟　第一会議室

４．総社員数　１０名

５．出 席 者　琉球大学（代表理事：西田 睦）
沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学（理事：金 永秀）
沖縄大学（理事：盛口 満）　沖縄女子短期大学（理事：平田 美紀）
沖縄国際大学（理事：前津 榮健）　沖縄県立芸術大学（理事：波多野 泉）
名桜大学（理事：砂川 昌範）　沖縄県立看護大学（理事：嘉手苅英子）
沖縄工業高等専門学校（理事：伊原 博隆）
沖縄科学技術大学院大学（代理出席：ウルフ・スコグランド）

６．欠 席 者　理　　事：グルース・ハインリッヒ・ピーター・ホースト
顧　　問：瀬名波　榮喜
顧　　問：ロバート・バックマン

７．列 席 者　運営委員：満尾俊一、仲里隆司、中田竜次、田代真紀、島袋常義、仲田哲二、渡久地寛、砂川一哉、仲里　勉、金城邦光、東恩納こずえ
関係職員：牛窪潔、本村真、崎山英樹、金城まなみ、赤嶺雅哉、砂川育子、島袋健

８．議　　事

第１号議案　定款の改正について
第２号議案　理事の再任について
第３号議案　代表理事の選定及び副代表理事の指名について
第４号議案　大学コンソーシアム沖縄　法人活動（案）について
第５号議案　令和元年度　事業報告について
①子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業（沖縄県委託事業）
②県民向け公開講座
③ＦＤ・ＳＤ事業
④県内大学入試説明会
第６号議案　令和元年度　決算について
①決算報告
②監査報告
第７号議案　令和２年度　事業計画（案）について
第８号議案　令和２年度　予算（案）について

第９号議案　その他

①地域連携プラットフォームについて

②情報交換（新型コロナウイルス感染症の対応について）

９．開会並びに定足数確認

議長である西田代表理事から、本社員総会は定足数を満たし有効に成立していること及び新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、ＷＥＢ会議により開催する旨報告があった後、開会宣言及び開会挨拶があり、議事審議に入った。

10．定款第１５条の規定による議長の氏名

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄代表理事　西田　睦

11．議事経過の要領及びその結果

○第１号議案　定款の改正について

議長から議案の提案があり、資料に基づき、満尾事務局長から定款第２３条第２項の代表の選定を理事の互選から社員総会の決議に改めること、また、本法人の非営利型法人としての要件を備えるため、新たに第３１条に剰余金の不分配、第３６条に残余財産の帰属の規定を整備することについて説明があった。

定款第３２条の規定に基づき、審議した結果、定款の改正については、全員異議なく承認された。

○第２号議案　理事の再任について

議長から議案の提案があり、資料に基づき、満尾事務局長から当法人の理事全員が本定時総会終結と同時に任期満了となること及び同人らの再任について説明があった。

定款第１７条第３項の規定に基づき、審議した結果、理事の再任については、社員が理事全員について、それぞれに挙手による決議を行い、、全員異議なく承認され、出席している被選任者は就任を承諾した。

【理事からの意見等】

・理事の任期について、記載されている任期満了前に退任するとの発言があり、議長から一旦、記載されている任期で再任され、学長退任の際には、後任の学長が残任期間を理事として就任して頂くことになるとの回答があった。

○第３号議案　代表理事の選定及び副代表理事の指名について

議長から議案の提案があり、西田代表理事の理事任期満了（資格喪失）に伴い退任することの説明があった。併せて、代表理事については、第１号議案で理事の互選から社員総会の決議に改められた定款第２３条第２項に基づき選定、また副代表理事については、同条第３項に基づき代表理事が指名する必要があることの説明があった。

審議の結果、３名の理事から西田代表理事の再任の推薦発議があり、次期代表理事への西田

理事の再任について、全員異議なく承認され、被選定者は就任を承諾した。

また、西田次期代表理事が、次期副代表理事として前津榮健理事を指名し、全員異議なく承認され、被指名者は就任を承諾した。

【副代表理事の指名及び受諾の発言】

・西田代表理事からは、就任１、２年目の理事が多い中、ベテランの理事が少なくなっている。理事経験が長く、また県が６次振興計画を進めているところで、県の振興審議会の部会長を務めている前津理事にお引き受けいただければと指名があった。

・前津理事からは、副代表理事として代表理事をサポートし、大学コンソーシアム沖縄の使命が果たされるよう、また理事、顧問の先生方のご理解とご協力を頂きながら職責を果たしたいとの発言があった。

○第４号議案　大学コンソーシアム沖縄　法人活動（案）について

議長から議案の提案があり、議長の指名により事務局（崎山）から資料に基づき、大学コンソーシアム沖縄　法人活動（案）について説明があった。

議長から、次の補足説明があった。本法人が設立されてから６年が経ち、試行錯誤しながら、活動を展開してきた。法人活動（案）については、昨年度から事務局、運営委員会で整理をしたものである。これを基に活動を展開し、さらに充実したものになっていくというもので、法人活動のガイドラインのようなものであるとの説明があった。

審議の結果、大学コンソーシアム沖縄法人活動（案）については、全員異議なく承認された。

【理事からの意見等】

・大学コンソーシアム沖縄の定款の中に記載されている本法人の目的に沿った事業になっている。この内容で継続して進めていただきたい。

○第５号議案　令和元年度　事業報告について

議長から議案の提案があり、議長の指名により以下の者から資料に基づき、令和元年度における各事業について報告があった。

①子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業
　報告者：本村真（子どもの居場所学生ボランティアセンター長）
②県民向け公開講座
　報告者：島袋健（事務局）
③ＦＤ・ＳＤ事業
　報告者：島袋健（事務局）
④県内大学入試説明会
　報告者：島袋健（事務局）

なお、①については4/9から新型コロナウイルス感染症の影響で対面による学生ボランティアの派遣を停止していたが、県内の感染状況が落ち着きを取り戻しつつある状況を踏まえ、事業再開に向けて、各学校における課外活動の参加状況調査及び副センター長の意向を確認した

との報告があった。

その調査結果においては各学校の対応が異なっているため、各学校の課外活動再開の状況に応じて、派遣の再開（離島派遣を含む）に向けた最終調整に入っていること、また、４／９の派遣停止の際は、代表理事と協議し、急遽、停止の措置を取らせていただいたが、今後に関しても、新型コロナウイルスの第２波、第３波への感染拡大防止の早急な対応をとる必要があることから、同様な急遽の措置についてご了承いただきたい旨の発言があった。

審議の結果、令和元年度事業報告及び学生ボランティアの派遣再開（離島派遣を含む）の取扱いについて、全員異議なく承認された。

【理事からの意見等】

・アンケートの項目について、学生自身が課題とか困ったこと、課題と感じたことなどのアンケートは取っているのか。

➢学生からは日々の報告受けており、コーディネーターが報告をチェックしている。アンケートというより、日々の記録の中で迅速に対応している。

➢学生との関わりの中で気づいた課題については、アンケートをとっており、一番多かった回答が「子どもたちの乱暴な言葉遣い」や「行動に関して問題が見られる」と学生は感じている。

・経済も非常に厳しくなっているが、今年度の寄附の見通し、情報はあるのか。

➢今年度、すでにＪＴＡが航空チケット１００万円の寄附を継続したいという連絡があった。また、１番頼りしているところでオリオンビール奨学財団からは、コロナの前ではあったが、寄附贈呈式の際に引き続き対応したいとの言葉を頂いている。

○第６号議案　令和元年度　決算について

①決算報告

議長から議案の提案があり、議長の指名により事務局（島袋）から決算報告書の貸借対照表及び収支計算書に基づき、令和元年度決算に関する説明があった。

審議の結果、令和元年度決算について、全員異議なく承認された。

②監査報告

議長から議案の提案があり、議長の指名により監査人を代表して盛口監査人から監査報告書に関する報告があった。

○第７議案　令和２年度　事業計画（案）について

議長から議案の提案があり、議長の指名により事務局（崎山）から資料に基づき、令和２年度における各事業計画（案）について説明があった。

審議の結果、令和２年度 事業計画(案）について、全員異議なく承認された。

○第８議案　令和２年度　予算（案）について

議長から議案の提案があり、議長の指名により事務局（島袋）から令和２年度予算（案）に

基づき、令和２年度予算に関する説明があった。令和２年度の会計区分の表記については、顧問税理士からの「事業の性質に応じた会計区分表記にしては」との助言等を踏まえ、これまでの「実施事業会計」を「公益目的事業会計」に、「その他事業会計」を「収益事業会計」にそれぞれ見直した旨の説明があった。

また、各社員の会費について、これまでどおり琉球大学、名桜大学及び沖縄科学技術大学院大学の３校には各２０万円、その他の７校には各１０万円の提案がされた。

審議の結果、令和２年度予算（案）について、全員異議なく承認された。

【理事からの意見等】

・ボランティアセンターの学生ボランティアの謝金支出については、活動停止期間もあり、支出が減少する可能性もあるがそれも見込んで計上しているのか。

➢前年度実績をベースに計上している。場合によっては、謝金の支出が減少することが予想されるが、その分は前年度繰越額の取崩額が減少することになる。

・新型コロナウイルス感染症の影響で事業が変わってくる可能性があると思う。例えば、大学では、６月まで旅費の支出がないが、オンラインの授業、会議対応など、これまで必要でなかったものが必要になったり、必要だったものが必要でなくなったりと事業の変化とともに予算の執行も変わってきた状況があるので、大学コンソーシアム沖縄もその辺を想定し備えた方がよいと思う。

➢法人本部の管理的経費については、旅費交通費以外は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける支出項目はなく、影響を受けやすいのは、事業費の企画イベント経費で、こちらは、まだ事業の見通しが立っていないので、運営委員会で検討し、柔軟に対応していくということで経費を計上している。

○第９号議案　その他

①地域連携プラットフォームについて

議長から議案の提案があり、議長の指名により満尾事務局長から資料８に基づき、地域連携プラットフォームに関する説明があった。また、併せて沖縄県の動きとして、本年１月２７日に「沖縄県２１世紀ビジョン基本計画等総点検報告書」が沖縄県の振興審議会答申として公表されており、その内容について口頭により次の説明があった。

○沖縄県振興審議会の附帯意見として、人材育成の項目があり、その中に「地域連携プラットフォーム（仮称）」という記載がある。さらに、その中に「１８歳人口の減少が進むことにより、地方における質の高い教育機会の確保が課題となることが見込まれる中で、地域における高等教育の将来像について、高等教育機関が地方公共団体や産業界を巻き込んで議論する場、すなわち「地域連携プラットフォーム」がないので、県内高等教育機関、地方公共団体、産業界が地域における高等教育のグランドデザインを議論する場として「地域連携プラットフォーム（仮称）」を構築する必要がある。

議長から「地域連携プラットフォーム」の素案が３月の中央教育審議会の大学分科会から出され、さらに５月に大学分科会から案が出されている旨の発言があり、県の振興審議会の附帯意見については、その部会長である前津理事へ発言が求められた。

（前津理事の発言内容）

○本件について、沖縄県の取り組みは非常に弱かったと感じており、大学コンソーシアム沖縄からも県の方に高等教育機関に対する県としての考え方、対応となる窓口を１日でも早く設置してほしいという働きかけを続けてきた。今後とも大学の方から働きかけをしないと県は動くかなと懸念している部分がある。従って、その後、県がどういった組織を設置したのか、総務私学課の方が担当部署になるとは聞いたが、今後、どういう人材を配置して、大学と意見交換していくのか、大学コンソーシアム沖縄の方からも積極的に働きかけしないといけないかと思っている。その際には一緒になって働きかけをしていけたらと思う。

②情報交換（新型コロナウイルス感染症の対応について）

議長から大学コンソーシアム沖縄として情報交換をし、場合によっては協力をするようなことがあれば、共有してはどうかと考えてとの議案の提案があり、新型コロナウイルス感染症の対応について、次のような情報交換が行われた。

・学生、教職員の安心、安全、命を守ることがまずは大前提。その上で、大学のミッションである教育研究を厳しい中で如何にしてやるか。遠隔授業の質の維持は、教員に委ねられている部分も結構ある。学生にとってはあまり不満にならない工夫が必要になる。また、学生への経済的支援、精神的支援が重要で、今、その段階になっていて、ご苦労されていると思う。さらに、入試をどうするか。３密を避けた会場で実施する場合、会場の確保が問題。県内の大学で協力しあうことも柔軟に積極的に考える必要があるかもしれない。

・学園祭の開催については難しい状況にあり、単独の大学の判断というよりは、県内の大学が開催方針を共通にしておいた方が良いのかと思う。学生、学生支援課が主体になると思うが、情報共有できればと思う。また、前期の授業は各大学の指針でやっている。県内の状況は落ち着いているので何とかなるかとは思うが、東京が非常に不安定な状況にある。後期を始める段階で、県内の感染者はいないが、国内の感染者が未だいた場合、遠隔からスタートするのかということに関しても、後期が始まる段階での安全基準であるとか授業運営の仕方など、それぞれ大学で違って構わないが、情報共有できればと思う。

・資格に繋がる科目がかなり沢山ある。７月から４年生と１年間課程の別科学生の対面授業を先に始めることにしている。前期の実習は、全て中止にして学内でそれに対応する演習なり講義に変えるようにしている。後期は実習が多くなるため現場と調整中であるが、読めないところがある中で準備をしている。大学の方針としては、オンラインを使った遠隔授業を含めて教育は継続するという方針を出している。現実的には学生もオンラインが続くときついと思う。飽きてきたという声も聞く。また、２年前から全学生にパソコンを貸与している。パソコンもあり、Wi-Fi の環境もあるが、家族環境、集合住宅の居住環境などで課題があり、また同様に教員も自宅勤務時に自宅で 90 分授業することは、家族がいるので環境がつくれないといったことなど、予想しなかったことがあ

り、個別対応も考えないといけないと気づいた。

・リモート教育は全世界で行なわれているが、人々にどのような影響があるか分からない部分が多い。学生の中にはこういったツールを非常に効果的に使って学習に反映させているといると思えば、そうでない学生もいる。OIST では、学生に対してリモートの教育がどう影響しているのかというアンケート調査をしている。教育というものは教師との関係性の側面、教師から直接会ってアドバイスをもらうという人間的な部分、エレクトロニックなものだけではカバーできない部分もある。ZOOM ミーティングもやっているが、クオリティ的にキャッチアップできない。この年代の学生だけではなく、全世界であらゆる年代で起きている事象で、この点を注意深く見ながら考えていかなければならない問題だと思う。

・保育科は、実習をするのに技術的にオンラインしようにも出来ない。今後、第２波、第３波の影響があるといわれており、今後、どうしていくかが課題である。

・全国に５１の国立高専があり、これまで連携していろいろなことを決定してきたが、今回は地域によって状況が異なる。最終的には地域ごとの判断になる。県内の情勢を見ないといけない。学園祭等で一つ共通認識があれば、決定しやすいのではないか。できるだけ迅速に正確に把握したいが難しい。学園祭の共通的な判断だけではなく、例えばオンラインをどこまで活用するのか　いつ対面を始めるのか、どういったときにレベル設定をしてレベルの変更をするのか、そういったものが簡単に手に入るような何かそういったものが、この大学コンソーシアムで発信できればと思う。

○この情報交換を踏まえ、議長から加盟校での総務系・教務系の情報共有を迅速に対応するため「情報のネットワーク」を大学コンソーシアム沖縄事務局を通して構築する旨の発言があった。

以上をもって、定時社員総会の全議案の審議を終了し、前津榮健副代表理事から閉会の挨拶を行った後、議長は閉会を宣し散会した。

上記議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事が記名押印する。

令和２年 7 月22 日

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄　第１０回社員総会

議　長　　西　田　　睦

理　事　　金　永　秀

理　事　　盛　口　　満

理　事　　平　田　美　紀

理　事　　前　津　榮　健

理　事　　波多野　　泉

理　事　　砂　川　昌　範

理　事　　嘉手苅　英子

理　事　　伊　原　博　隆

（議事録作成者）
運営委員（琉球大学地域連携推進課長）　仲　里　隆　司

資料１

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄　理事の選任について（案）

１．理事の選任について

・沖縄県立看護大学においては、現理事の嘉手苅学長が任期を満了し、令和３年４月に新たな学長が就任することになっている。

・今回の総会において、その就任予定者を引き続き理事として選任することを定款第１７条第３項に基づき、決定することとしたい。

２．理事候補者の氏名、現職、任期は以下のとおり。　（令和３年２月２２日現在）

No	氏　　名	現　　職	大学・役職（予定）	大学ｺﾝｿｰｼｱﾑ沖縄役職	任　　期	備　考
１	神里　みどり（かみざと みどり）	看護学部長	沖縄県立看護大学長	理事	学長就任の時～令和４年定時社員総会終結の時	

３．一般社団法人大学コンソーシアム沖縄定款（抜粋）

（決議）

第１７条　社員総会の決議は、法令又は定款に別段の定めがある場合を除き、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該正会員の議決権の過半数をもって行う。

２　（略）

３　理事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第１項の決議を行わなければならない。

（理事）

第２２条　　（略）

２　理事は、社員総会の決議によって選任する。

（理事の任期）

第２４条　理事の任期は、選任後２年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

２　任期満了前に退任した理事の補欠として選任された理事の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

資料２－１

令和　２　年　１０　月　４　日

一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄 入会申込書

大学コンソーシアム沖縄 代表理事　殿

組　織　名　　放送大学沖縄学習センター

代表者名　　(ﾌﾘｶﾞﾅ)
カワ モト ヤス ヒロ
川 本　康 博　　㊞

大学コンソーシアム沖縄の目的、活動に賛同し、貴法人の会員として入会したいので、下記のとおり入会を申込みます。

記

１　区　　分 （いずれかに○印）	正 会 員　　賛助会員
２　会員情報	組織名：放送大学沖縄学習センター
	住　所：西原町字千原１番地　琉球大学地域国際学習センター棟４階・５階
	代表者役職名・氏名：所長・川本　康博
３　担当者情報	氏名：川満　好友
	所属：放送大学沖縄学習センター
	役職：事務長
	連絡先 メールアドレス：x-4410mo@ouj.ac.jp 電　話　番　号：098-895-5952

※　申込書は下記までご送付ください

大学コンソーシアム沖縄　事務局

〒９０３－０２１３　沖縄県 中頭郡 西原町 字 千原１番地

連絡先　ＴＥＬ：０９８－８９５－８９９８

ＦＡＸ：０９８－８９５－８１８５

E-mail：chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

資料２－２

令和 3 年 2 月 12 日

一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄 入会申込書

大学コンソ - シアム沖縄 代表理事　殿

組織名 Kishimoto Family Foundation

(フリガナ) キシモトマサユキ

代表者名 岸本正之

大学コンソーシアム沖縄の目的、活動に賛同し、貴法人の会員として入会したいので、
下記のとおり入会を申込みます。

記

1　区　分 (いずれかに○印)	正会員　　○賛助会員
2　会員情報	組織名：Kishimoto Family Foundation (岸本ファミリー個人慈善基金)
	住　所 [redacted]
	代表者役職名・氏名：創設者　岸本正之
3　担当者情報	氏名：能勢光子
	所属：Kishimoto Family Foundation (岸本ファミリー個人慈善基金)
	役職：秘書
	連絡先 [redacted] メールアドレス： 電　話　番　号：　能勢光子

※ 申込書は下記までご送付ください

大学コンソーシアム沖縄　事務局
〒９０３－０２１３　沖縄県 中頭郡 西原町 字 千原 １番地
連絡先　ＴＥＬ：０９８－８９５－８９９８
ＦＡＸ：０９８－８９５－８１８５
E-mail：chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

資料3

大学コンソーシアム沖縄の規程整備について（案）

【今回制定・改正予定の規程】

番号	規程等名称	施行予定日	頁
1	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄会費に関する規程	R3.2.22	1頁
2	一般社団法人大学コンソーシアム寄附金取扱規程（案）	R3.4.1	3頁
3	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄文書取扱規程改正（案）	R3.4.1	9頁

【制定済規程】

番号	規程等名称	制定日	適用日
1	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄組織規則	R1.6.18	H31.4.1
2	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄事務局規程	R1.6.18	H31.4.1
3	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄運営委員会規程	R1.6.18	H31.4.1
4	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄文書取扱規程	R1.6.18	H31.4.1
5	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄非常勤職員就業規則	R1.6.18	H31.4.1
6	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄非常勤職員給与規程	R1.6.18	H31.4.1
7	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄会計規程	R1.6.18	H31.4.1
8	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄旅費規程	R1.6.18	H31.4.1
9	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄個人情報保護規程	R1.6.18	H31.4.1
10	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄公印取扱規程（案）	R2.2.27	R2.4.1
11	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄謝金支給事務取扱要領（案）	R2.2.27	R2.4.1
12	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄旅費支給事務取扱要領（案）	R2.2.27	R2.4.1
13	一般社団法人大学コンソーシアム後援等名義使用取扱要項（案）	R2.2.27	R2.4.1
14	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄監査に関する申合せ（案）	R2.2.27	R2.4.1

資料３－１

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄会費に関する規程（案）

令和３年　月　日
制　　定

（目的）

第１条　この規程は、一般社団法人大学コンソーシアム沖縄（以下「本法人」という。）定款第７条の規定に基づき、本法人の会費に関し、必要な事項を定める。

（会費）

第２条　定款第７条第１項及び第２項に規定する会費は、次表に掲げるところによる。

表：正会員及び賛助会員の会費

区　　分		会　費	備　　考
正会員（定款第 5 条第１項第１号に規定する沖縄県に所在する高等教育機関）	第１種	200,000 円	国立大学法人 琉球大学、公立大学法人 名桜大学、学校法人 沖縄科学技術大学院大学学園
	第２種	100,000 円	学校法人 沖縄キリスト教学院、学校法人 沖縄大学、学校法人 嘉数女子学園、学校法人 沖縄国際大学、独立行政法人国立高等専門学校機構、沖縄県立芸術大学、沖縄県立看護大学
賛助会員（定款第 5 条第１項第２号に規定する組織又は団体）		20,000 円（一口）	

２　会費は、事業活動に生じる費用に充てるものとする。

（会費の納入等）

第３条　会費納入は年１回とし、事業年度内の期日までに、この法人が指定する口座に１年分を納入する。

２　会費納入に要する振り込み手数料は会員の負担とする。

３　本法人は、正会員又は賛助会員が当該事業年度において納入した会費については、これを返還しない。

（雑則）

第４条　この規程に定めるもののほか、会費に関し必要な事項は、代表理事が別に定める。

（改廃）

第５条　この規程の改廃は、社員総会の議を経て代表理事が行う。

附　則

この規程は、令和　年　月　日から施行する。

資料３－２

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄寄附金取扱規程（案）

令和３年　月　　日
制　　定

（趣旨）
第１条　この規程は，一般社団法人大学コンソーシアム沖縄（以下「本法人」という。）における寄附金の取扱いに関し必要な事項を定める。

（寄附金の受入れ）
第２条　寄附金は，本法人の設置運営その他の事業に支障がないと認められるものについて受入れるものとする。ただし，次の各号のいずれかに該当する場合は，受入れることができないものとする。
(1) 寄附金により取得した財産を無償で寄附者に譲与することの条件が付されているもの
(2) 寄附金による学術研究の結果得られた特許権，実用新案権，意匠権，商標権及び著作権その他これらに準ずる権利を寄附者に譲渡し，又は使用させることの条件が付されているもの
(3) 寄附金の使用について，寄附者が会計検査を行うことの条件が付されているもの
(4) 寄附者との関係について，社会的疑惑を招く恐れのあるもの
(5) その他代表理事が業務運営上支障があると認めるもの

（受入れの決定）
第３条　寄附金の受入れの決定は，代表理事が行うものとする。

（受入れの手続き）
第４条　代表理事は，寄附者から別紙１又は次の各号に掲げる事項が記載された書面による寄附の申込みがあったときは，速やかに受入れの決定を行うものとする。
(1) 寄附者の氏名及び住所
(2) 寄附金額
(3) 寄附金の使途･目的

（受入決定及び収納手続）
第５条　代表理事は，寄附金の受入れを決定したときは，別紙２の振込依頼書を寄附申込者に送付するものとする。
２　寄附金は，一般社団法人大学コンソーシアム沖縄会計規程第１８条に定める本法人の出納責任者が収納するものとする。本法人の出納責任者は，寄附金の収納確認後別紙３の寄附金領収書を寄附者に送付するものとする。

（寄附金の使途・目的）
第６条　寄附金は，寄附の使途・目的に沿って使用しなければならない。
２　寄附の使途・目的が特定されていない寄附金については，あらかじめ使途・目的を特定することができる。

（寄附金の使途・目的の変更）

第７条　事務局長は，寄附金の残高が千円未満となったものを他の使途・目的に使用する場合，寄附金の使途・目的を変更することができるものとする。

２　事務局長は，前項に規定するもののほか寄附金の使途・目的を変更する必要がある場合は，別紙４の寄附金使途変更承認申請書により代表理事の承認を得るものとする。

（本法人の募金）

第８条　本法人が自ら寄附金を募り受入れる場合は，第４条及び第５条の規定と異なる取扱いとすることができる。

（雑則）

第９条　この規程に定めるもののほか，その他必要な手続については，代表理事が別に定める。

（規程の改廃）

第１０条　この規程の改廃は，社員総会の議を経て，代表理事が行う。

附　則

この規程は，令和３年〇月〇から施行する。

別紙１

平成　　年　　月　　日

一般社団法人
大学コンソーシアム沖縄代表理事　　殿

寄 附 者
郵便番号
住　　所

氏　　名　　印

電話番号
（法人にあっては，法人名，職名及び氏名）

下記のとおり寄附します。

記

１．寄　附　金　額　　金　　円

２．寄附金の使途・目的

３．寄　附　の　条　件

４．そ　　の　　他

※振込書の送付先

※担当者氏名・連絡先

別紙２

令和　　年　　月　　日

（寄附者・氏名）

殿

一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄
代表理事　　印

時下，益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて，令和　　年　　月　　日付けで，本法人に過分のご寄附の申込みをいただき，厚く御礼申し上げます。

寄附金の納入につきましては，お手数ですが下記銀行口座へお払込みくださいますようお願い申し上げます。

なお，領収書は，寄附金を納めていただいた後送付いたしますので，よろしくお願いいたします。

記

寄　附　金　額

〔お振込み銀行〕

【口　座　名】　一般社団法人　代表理事　○ ○ ○ ○
○　○　銀行　　○ ○　支店　　普通預金　○ ○ 口座

〔問い合わせ先〕

※担当者氏名・連絡先

別紙３

No.

寄 附 金 領 収 書

様

このたびは，本法人に対してご寄附いただき誠にありがたく存じます。

貴殿のご寄附の趣旨を十分に配慮し，本法人の設置運営その他の事業に資する所存でありますので，今後とも，より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬　具

寄附金額　　円

上記のとおり寄附金を受領しました。

年　　月　　日

一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄
代表理事　×　×　　×　×　　印

別紙４

令和　　年　　月　　日

大学コンソーシアム沖縄　代表理事　殿

大学コンソーシアム沖縄
事 務 局 長　　印

寄附金使途・目的変更承認申請書

下記のとおり，寄附金の使途・目的の変更を承認くださるよう申請します。

受入れた使途・目的	
変更しようとする使途・目的金額	
変更しようとする理由	
その他参考となる事項	

資料３－３

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄文書取扱規程の一部改正（案）

（一部改正に伴う新旧対照表）

新	旧
（改正理由） ・本法人の文書取扱規程においては、専決に関する規定が無いことから、文書決裁を迅速に処理するため、規定の整備を行う。	
一般社団法人大学コンソーシアム沖縄文書取扱規程	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄文書取扱規程
第１条～第８条　　略	第１条～第８条　　略
（決裁） 第９条　文書の決裁は、特に定めるもののほか、名義者の決裁を得なければならない。	（決裁） 第９条　文書の決裁は、特に定めるもののほか、名義者の決裁を得なければならない。
（専決） 第１０条　前条第１項の規定にかかわらず、別表の事項欄に掲げる事項の決裁については、同表の専決者欄に掲げる者が専決する。ただし、専決事項であっても特に必要があると認められるものについては、この限りではない。	（新規）
（代決） 第１１条　　略	（代決） 第１０条　　略
（供覧） 第１２条　　略	（供覧） 第１１条　　略

新	旧
（文書番号） 第１３条　　略 （文書の整理及び保存） 第１４条　　略 （文書の保存期間） 第１５条　　略 （文書の廃棄） 第１６条　　略 （機密保持） 第１７条　　略 （雑則） 第１８条　　略 （改廃） 第１９条　　略 附　則 この規程は，令和元年６月１８日から施行し、平成３１年４月１日から適用する。 附　則（令和３年　月　日） この規程は，平成３年　月　日から施行する。	（文書番号） 第１２条　　略 （文書の整理及び保存） 第１３条　　略 （文書の保存期間） 第１４条　　略 （文書の廃棄） 第１５条　　略 （機密保持） 第１６条　　略 （雑則） 第１７条　　略 （改廃） 第１８条　　略 附　則 この規程は，令和元年６月１８日から施行し、平成３１年４月１日から適用する。

新	旧
（別表） （新規）	

事　　項	名 義 者	専 決 者
（共通事項）		
1　法令等に基づく官公庁等に対して行う協議，申請，届出及び報告等に関するもので重要事項以外のもの	代表理事	事務局長
2　法令，通達等により代表理事名をもって行うもののうち，技術的なもの又は定型的なもの	〃	〃
3　官公庁等に対して行う協議，申請，届出及び報告等に関するもので重要事項以外のもの	〃	〃
4　大学コンソーシアム沖縄加盟校等に対して行う通知，照会，回答，調査及び報告等に関するもので，重要事項以外のもの	〃	〃
（総務関係）		
1　諸規則の制定改廃に関する報告	代表理事	事務局長
2　公印の作成，改刻及び廃止の承認	〃	〃
3　ロゴマーク及び後援等名義の使用許可	〃	〃
4　印刷物等の編集発行	〃	〃
5　出張報告書（出張申請書に関しては，専決を認ない。）	〃	〃
6　兼業に関するもの	〃	〃
7　人事、給与の決定及び期末・勤勉手当に関するもの	〃	〃
8　通勤手当及び住居手当の認定	〃	〃
9　時間外労働及び休日労働の命令	〃	〃
10　休暇の承認	〃	〃
11　職務従事義務免除期間の承認	〃	〃
12　履歴事項の照会及び回答等	〃	〃

新			旧
13　履歴事項の追加変更等 14　給与の支給、所得税等の控除及び支払いに関するもの 15　健康診断の実施 16　労働災害の認定申請及び補償額の決定るもの 17　社会保険事務の処理 18　雇用保険事務の処理	〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃	
（会計関係） 1　法人予算に関すること（社員総会承認を要するもの以外） 2　法人決算に関すること（社員総会承認を要するもの以外） 3　支出伝票の起案・決裁 4　振替伝票の起案・決裁 5　寄附金の振込依頼書の送付	代表理事 〃 〃 〃 〃	事務局長 〃 〃 〃 〃	

資料4-1

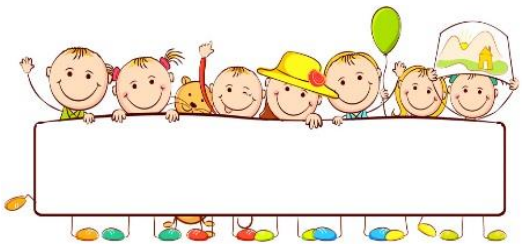
University Consortium Okinawa

一般社団法人
大学コンソーシアム沖縄

子どもの居場所学生ボランティアセンター

大学コンソーシアム沖縄 総会資料

2020年2月22日（月）



一般社団法人大学コンソーシアム沖縄 概要

事業内容

①グローバル人材の育成
②単位交換
③学生間の連携・交流
④共同研究
⑤教職員の研修
⑥小中高大連携活動
⑦公開講座（県民フォーラム・出前講座）
⑧産官学連携
⑨各種の地域社会貢献
⑩その他

平成26年度～令和2年度（2014～2020年度）事業実績

1．シンポジウム（第1回～第3回）
2．沖縄学生サミット（第1回～第3回）
3．県民向け公開講座（H26年度～）
4．子ども科学人材育成事業（中学生及び高校生プロジェクト：H27～29年度）
5．子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業（H28年度～）
6．知的・産業クラスター支援ネットワーク強化事業（H29～30年度）
7．第１４回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム（H29年度）
8．グローバル・ピース・ダイアログ沖縄（H30年度）
9．FD・SD研修事業（H31・R1年度～）

子どもの居場所学生ボランティアセンターとは

内　閣　府
沖縄子供の貧困緊急対策事業

→

沖　縄　県
子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業

→

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄
子どもの居場所学生ボランティアセンター

子どもの居場所学生ボランティアセンター概要

設　　立

設　立 ： 平成28年（2016年）4月14日

体　　制

センター長	本村 真　（琉球大学人文社会学部人間社会学科　教授）
副センター長	上原 健二　（沖縄女子短期大学児童教育学科　准教授）
	渡久山 朝裕　（沖縄県立看護大学看護学部看護学科　准教授）
	比嘉 憲枝　（名桜大学人間健康学部 上級准教授）
	比嘉 昌哉　（沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科 教授）
	山野 良一　（沖縄大学人文学部福祉文化学科 教授）
コーディネーター	喜久里 瑛、 宜志富知恵子
事務補佐員	渡慶次美奈子、 多田 絵理

令和3年1月現在

子どもの居場所学生ボランティアセンターのしくみ

子どもの居場所学生ボランティアセンター



- 名桜大学
- 琉球大学
- 沖縄科学技術大学院大学
- 沖縄国際大学
- 沖縄女子短期大学
- 沖縄工業高等専門学校
- 沖縄大学
- 沖縄県立芸術大学
- 沖縄キリスト教学院大学
- 沖縄県立看護大学
- 沖縄キリスト教短期大学

学生サポートボランティア派遣

学生支援・メンター制度

子どもの居場所



- 学習支援教室
- 子ども食堂
- 子ども向け
  アクティビティ

沖縄県内専門職団体からメンターの派遣

参加団体

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会、沖縄ソーシャルワーカー協会、沖縄県医師会、沖縄県看護協会、沖縄県公認心理師協会、沖縄県教職員組合、 沖縄県社会福祉士会、沖縄県精神保健福祉士会、等

学生派遣によって期待される効果



お兄さん
お姉さん
的存在



学校生活への参加意欲の高まり

居場所における他の活動

自己肯定感の向上



居場所における安心感の向上

学生への処遇

受託事業費より

- ボランティア保険の加入費
- 自宅から子どもの居場所までの交通費

寄附金より

- ボランティア活動において、１時間あたり760円の謝金を支給

（2016･17年度は1時間あたり700円、2018年度は740円）

学生へのサポート･･･メンター制度

沖縄県内専門職団体から
メンターの派遣

悩み

アドバイス

異なる大学、学年で
少人数のグループを形成
＝ピア･グループ



仲間との
悩みの共有

参加団体

- 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
- 沖縄県医師会
- 沖縄県公認心理師協会
- 沖縄県社会福祉士会
- 沖縄ソーシャルワーカー協会
- 沖縄県看護協会
- 沖縄県教職員組合
- 沖縄県精神保健福祉士会　　等

学生サポートボランティア事前研修会の開催

講 義 内 容

● コーディネーター	ボランティアセンターの概要説明（心得等）
● 沖縄県	子供の貧困緊急対策事業概要（沖縄県資料）
● 社会福祉士・児童福祉司	ソーシャルワークの基礎
● 居場所スタッフ	子どもの居場所関係者による現場からの声
● 学生ボランティア	学生ボランティアによる現場からの声
● 大学教員・弁護士	子どもたちの人権について

●事前研修会実施状況（令和２年度）

	日 時	場 所	参加人数
第１回	令和２年6月21日（日）	オンライン	114
第２回	令和２年10月25日（日）	オンライン	27
第３回	令和3年2月21日（日）予定	オンライン	(申込42)
		合計	141



ピアグループ＆メンター制度の実施

学生サポートボランティアをする「仲間（ピア）」同士が集まる機会を設け、同時に対人援助の専門家に「助言者（メンター）」として話を聴いて頂くことで、ボランティア活動で生じた悩みの解消を図ることを目的とする。

●メンター実施状況（令和2年度）

	日時	場所	参加人数	大学別参加人数
第１回	11月10日（火）	オンライン	3	沖縄県立看護大学1名、名桜大学1名、琉球大学1名
第２回	2月25日（木）予定	オンライン	(申込5)	名桜大学2名、沖縄国際大学2名、琉球大学1名

学生提案型企画

子どもの貧困問題に関する理解を深め、卒業後にも引き続き課題解決に貢献できる人材として社会で活躍するための経験を提供することを目的とし、学生サポートボランティアが自ら子どもの貧困問題の解決や啓発に主体的に取り組むプロジェクトを公募し、採用プロジェクトに対し支援を行う。

■募集期間：令和2年6月8日～26日
■プロジェクト期間：令和2年9月～令和３年2月
■採用件数：2件（応募総数３件）
■予算：10万円

採用プロジェクト①「サポ丸」

受けられる支援制度やその内容を明確に知ることができるフォームを作成し、認知を広げて利用につなげることを目指す。

対象：

沖縄市を中心に、支援が必要な困窮世帯へダイレクトに届けることも視野に入れている。

企　画：島袋鈴菜、伊佐優華（琉球大学）
新垣智士（沖縄県立看護大学）、
名嘉倫毅（沖縄国際大学）、
眞志喜和花（沖縄キリスト教短期大学）





採用プロジェクト②「学ぶ＝元気！」

Ankiアプリで子どもたちがゲーム感覚で学習することで、楽しく自主的に学ぶことを目指す。

対象：

北部の子どもの居場所４か所で実施予定。

企　画：Natalya Weber、Miquel Jorquera Riera、
Isabel Anai Echeverria Oviedo、
Sandeep Rajendra Kumar
ほか通訳サポートボランティア 9名
（沖縄科学技術大学院大学）















子どもの居場所学生ボランティアセンター主催　研修会＆シンポジウム

沖縄県内の子どもを取り巻く実情や、国内の先進的取組みに関する研修会として実施。学生のスキルアップ及び一般市民への子ども支援への理解を深めることを目的とし、「コロナ禍における 学生ボランティアに求められていること」と題して、研修会を開催した。

テ ー マ：「コロナ禍における 学生ボランティアに求められている事」

講　師　：入江優子　氏
（東京学芸大学教育インキュベーションセンター　准教授 ）
田嶌大樹　氏
（東京学芸大学児童・生徒支援連携コンソーシアム　特命助教）
喜久永りえ子　氏　（R.Kアカデミー　代表）
平尾文芳　氏　（R.Kアカデミー学生サポートボランティア）
以上、発表順。

日　時　：令和2年12月13日（日）10：00～12：00

場　所　：オンライン

対　象　：学生サポートボランティアに登録する学生 / 一般市民

参加人数：41名（申し込み：55名）



学生サポートボランティア派遣状況

	平成30年度	令和元年度	令和２年度
市町村より推薦を受けた居場所数	114	143	151
派遣希望居場所数	92	113	115
派遣済居場所数	72	80	49
派遣済市町村数	23	24	16
事前研修会受講者数	240	243	141
サポートボランティア登録学生数	205	237	246
学生派遣人数（今年度累計）	180	189	128
学生派遣回数	― ※1	4,120	1,089
学生が関わった子どもの数	29,409	36,519	8,833

※1　データなし

令和2年12月末時点

大学別派遣状況

大学名	平成30年度			平成31･令和元年度			令和2年度		
	事前研修受講者数	登録者数	派遣人数	事前研修受講者数	登録者数	派遣人数	事前研修受講者数	登録者数	派遣人数
琉球大学	88	84	77	103	94	82	31	77	40
沖縄キリスト教学院大学	7	3	0	0	0	0	2	3	2
沖縄キリスト教短期大学	14	4	2	12	10	4	3	2	1
沖縄大学	10	9	7	14	8	5	5	10	6
沖縄女子短期大学	24	16	16	17	19	16	5	9	6
沖縄国際大学	34	28	27	32	27	26	34	43	27
沖縄県立芸術大学	0	2	2	6	2	2	3	3	1
名桜大学	40	32	27	54	58	43	15	55	20
沖縄県立看護大学	18	22	17	4	15	8	20	21	6
沖縄工業高等専門学校	4	4	4	1	3	2	0	1	1
沖縄科学技術大学院大学	1	1	1	0	1	1	23	22	18
【合計】	240	205	180	243	237	189	141	246	128

令和2年12月末時点

島嶼地域の子どもの居場所への派遣

大学のない離島の子どもの居場所では、普段大学生と触れ合う機会が少ないために、学生サポートボランティアの派遣を望む声も大きい。これに応えるべく、子どもの居場所学生ボランティアセンターでは、学生の長期休暇を利用し、短期集中派遣を行っている。**(今年度は新型コロナウイルスの影響で未派遣)**

離島名	平成28年度 派遣人数 (居場所数)	平成29年度 派遣人数 (居場所数)	平成30年度・夏 派遣人数 (居場所数)	平成30年度・春 派遣人数 (居場所数)	令和元年度・夏 派遣人数 (居場所数)	令和元年度・春 派遣人数 (居場所数)
石垣島	2人 (1ヶ所)	10人 (1ヶ所)	14人 (4ヶ所)	3人 (4ヶ所)	10人 (4ヶ所)	1人 (1ヶ所)
宮古島	4人 (3ヶ所)	20人 (5ヶ所)	20人 (5ヶ所)	7人 (5ヶ所)	12人 (6ヶ所)	4人 (3ヶ所)
多良間島	0人 (0ヶ所)	4人 (1ヶ所)	3人 (1ヶ所)	1人 (1ヶ所)	2人 (1ヶ所)	1人 (1ヶ所)
伊平屋村	—	—	—	2人 (1ヶ所)	3人 (1ヶ所)	2人 (1ヶ所)
南大東村	—	—	—	2人 (2ヶ所)	2人 (2ヶ所)	2人 (2ヶ所)
【合計】	6人 (4ヶ所)	33人※1 (7ヶ所)	34人※2 (10ヶ所)	14人※3 (13ヶ所)	28人※4 (14ヶ所)	8人※5 (8ヶ所)

※1　宮古島と多良間島の２か所で活動した学生１名が重複
※2　宮古島と多良間島の２か所で活動した学生３名が重複
※3　宮古島と多良間島の２か所で活動した学生１名が重複
※4　宮古島と多良間島の２か所で活動した学生1名が重複
※5　宮古島と多良間島の２か所で活動した学生1名が重複

寄附金一覧（平成28～令和2年度）

※令和3年1月末時点

年度	寄附団体名	寄附金		備考
平成28	一般財団法人オリオンビール奨学金財団（現在、公益財団法人オリオンビール奨学財団）	5,000,000	21,510,000	
	沖縄県酒造組合	4,500,000		
	株式会社國場組	10,000,000		
	株式会社日本トランスオーシャン航空	2,000,000		航空券（上限100万×3年＝300万円相当）
	寺田克彦（テラ・ウェブ・クリエイト）	10,000		
平成29	株式会社MUGEN	120,000	6,320,000	
	株式会社MUGEN	100,000		
	公益財団法人オリオンビール奨学財団	5,000,000		
	沖縄県酒造組合	1,000,000		
	Ｊ・ＴＡＰ協力会	100,000		離島派遣時の宿泊費として
平成30	沖縄法政学会	254,786	6,254,786	
	公益財団法人オリオンビール奨学財団	5,000,000		
	沖縄県酒造組合	1,000,000		
平成31・令和元	個人（匿名）	100,000	6,440,000	
	株式会社MUGEN	40,000		
	公益財団法人オリオンビール奨学財団	5,000,000		
	琉球宇温基金	300,000		離島派遣学生に対する謝金に限る
	沖縄県酒造組合	1,000,000		
令和2	株式会社日本トランスオーシャン航空	備考欄のとおり	150,000	航空券100万円相当
	24時間ではしりぬける物理実行委員会／東京学芸大学	150,000		

今後のスケジュール（令和2年度）

- **北部派遣の実施**
  - 日時：令和3年2月～3月初旬
  - 会場：北部にある子どもの居場所
  - 内容：ボランティア学生の確保が難しい北部等地域への短期派遣
- **ピアグループ＆メンター制度の実施**
  - 日時：令和3年2月25日（木）14:00－16:00
  - 会場：オンライン
  - 内容：学生サポートボランティア同士の交流・情報交換、悩みに対するメンター（対人援助職）からのアドバイス
- **春の島嶼地域への集中派遣の実施➤今回、新型コロナウイルスの影響により中止**
  - 日時：令和3年3月
  - 会場：島嶼地域にある子どもの居場所
  - 内容：大学のない離島への学生の長期休暇を利用した短期集中派遣
- **子どもの居場所学生ボランティアセンター活動報告会**
  - 日時：令和3年3月17日（水）14:30～16:00
  - 会場：オンライン
  - 内容：寄附者への活動報告
- **各寄付者への贈呈式**
  - 随時調整中

今後のスケジュール（令和3年度）

- **4月　各大学・学校でのPR活動**

資料４－２

１．県民向け公開講座の実施状況について（2/22 時点）

〇タイトル（講演テーマ）：沖縄大学第 572 回 沖縄大学土曜公開講座
「 コロナの影響から子どもをどう守るか 」

開催日：令和３年１月２３日（土）13:30～17：00（オンライン講座：Zoom で LIVE 開催）

共　催：沖縄タイムス社・琉球新報社・沖縄大学地域研究所

実施概要：

沖縄タイムス社の新垣綾子記者、琉球新報社の黒田華記者を迎え、2020 年 5 月に行われたコロナ感染症の県民への影響に関して、琉球新報社が実施した「生活調査」と沖縄タイムス社が実施した子どもへの影響を聞いた「親子調査」について、それぞれの担当記者から詳細な解説が行われた。今後も続くであろう新型コロナウイルス感染症の影響から、子どもたちをどう守っていくか議論を深めた。併せて、本学の経法商学科の島袋隆志教授から、コロナ禍における県内企業の動向についての報告が行われた。

参加者：55 人視聴

２．ＦＤ事業の実施状況について（2/22 時点）

〇タイトル（講演テーマ）：令和 2 年度数理データサイエンス教育普及展開ワークショップ
～すべての沖縄県内大学生へデータサイエンスを　Part２～

開催日：令和２年１１月１６日（月）14：00～16：00

場　所：琉球大学共通教育棟１号館１１８号及びオンライン配信（Zoom ウェビナー）

主　催：琉球大学

実施概要：

琉球大学国際地域創造学部の山田先生から「琉球大学国際地域創造学部におけるデータサイエンス教育」という題目で、授業の設計・実施・評価といった、実践的事例に基づく報告があった。その後、名桜大学、沖縄大学から３名の先生に各大学の取組について紹介いただいた。

まず、名桜大学国際学部群の天願先生、中里先生から「名桜大学における情報教育の取組」という題目で、データサイエンス教育の推進に向けた、現状カリキュラムの分析や、今後の検討課題等について、次に、沖縄国際大学産業情報学部の小渡先生から「沖縄国際大学産業情報学科のカリキュラム事例」という題目で、数理・データサイエンス教育関連講義や勉強会への取組状況や、新設科目の開設状況について報告があった。最後に、琉球大学工学部の岡﨑先生がファシリテーターとなり、会場参加者・オンライン参加者で「カリキュラムや認証制度について」をテーマに活発な意見交換が行われた。事後アンケートにおいても、9 割以上の方に「非常によかった」、「よかった」とご回答いただき、数理・データサイエンス教育の普及展開に向けて、非常に有意義なワークショップとなった。

参加者：加盟校　６校　４１名（沖国大、沖大、名桜大、キリ学、沖女短、琉大）

３．ＳＤ事業の実施予定について（2/22 時点）

〇タイトル（研修テーマ）：国際交流危機管理研修（琉球大学ＳＤ研修

開催日：令和３年３月２日（火）13：30～15：00（オンライン開催）

主　催：琉球大学

実施概要：

（目的） 大学のグローバル化が進展する昨今、海外との学生交流、研究者交流の活性化に伴い、海外でのセキュリティリスクが高まっていることから、職員が国際交流に伴うリスクの回避や危機発生時の対応等に必要とされる危機管理の知識を身につけることを目的とする。

（対象） 国際交流及び国際教育業務を担当する者。学部等の事務窓口等で学生交流・研究者交流に対応する者。国際交流業務等に関心のある者。

（内容） 危機の認識や対処方法。その準備等海外出張等に必要不可欠な知識の習得。
①国際交流における危機管理、②海外渡航における危機管理、③外国人留学生・研究員受入における危機管理

資料４－３

AI戦略2019

ＡＩ戦略2019 【基本的考え方】

令和元年10月29日　第1回
数理・データサイエンス・AI教育
プログラム認定制度検討会議
内閣府作成資料抜粋

- 「**人間尊重**」、「**多様性**」、「**持続可能**」の３つの理念を掲げ、Society 5.0を実現し、SDGsに貢献
- ３つの理念を実装する、**４つの戦略目標**（人材、産業競争力、技術体系、国際）を設定
- 目標の達成に向けて、「**未来への基盤作り**」、「**産業・社会の基盤作り**」、「**倫理**」に関する取組を特定

戦略目標Ⅰ：人材
人口比において最もAI時代に対応した人材を育成・吸引する国となり、持続的に実現する仕組みを構築

戦略目標Ⅱ：産業競争力
実世界産業においてAI化を促進し、世界のトップランナーの地位を確保

理念（実現する社会）
- 人間の尊厳の尊重（Dignity）
- 多様な人々が多様な幸せを追求（Diversity & Inclusion）
- 持続可能（Sustainability）

戦略目標Ⅲ：技術体系
理念を実現するための一連の技術体系を確立し、運用するための仕組みを実現

戦略目標Ⅳ：国際
国際的AI研究・教育・社会基盤ネットワークの構築

具体目標・取組

未来への基盤作り		産業・社会の基盤作り			倫理
教育改革	研究開発	社会実装	データ関連基盤	デジタル・ガバメント中小・新興企業支援	AI社会原則

教育改革に向けた主な取り組み

令和元年10月29日　第1回
数理・データサイエンス・AI教育
プログラム認定制度検討会議
内閣府作成資料抜粋

デジタル社会の「**読み・書き・そろばん**」である「**数理・データサイエンス・AI**」の基礎などの必要な力を**全ての国民**が育み、あらゆる分野で人材が活躍

主な取組

エキスパート

先鋭的な人材を発掘・伸ばす環境整備
- **若手の自由な研究と海外挑戦**の機会を拡充
- 実課題をAIで発見・解決する学習中心の**課題解決型AI人材育成**

応用基礎

AI応用力の習得
- **AI×専門分野**のダブルメジャーの促進
- **AIで地域課題等の解決**ができる人材育成（産学連携）

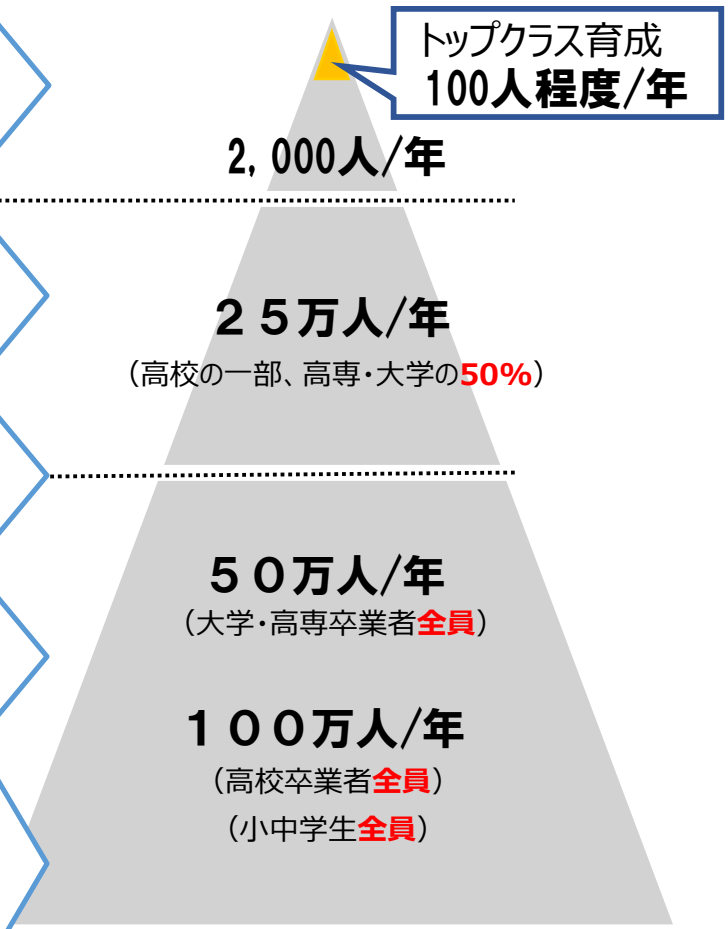
認定制度・資格の活用
- 大学等の**優れた教育プログラムを政府が認定**する制度構築
- **国家試験**（ITパスポート）の見直し、高校等での活用促進

リテラシー

学習内容の強化
- 大学の標準カリキュラムの開発と展開（**MOOC※活用**等）
- 高校におけるAIの基礎となる**実習授業**の充実

小中高校における教育環境の整備
- 多様な**ICT人材の登用**（高校は1校に1人以上、小中校は4校に１人以上）
- **生徒一人一人が端末**を持つICT環境整備

育成目標【2025年】



※Massive Open Online Course：大規模公開オンライン講座

AI戦略2019FUにおける数理・DS・AI教育に関する記載（抜粋）

Ⅱ．未来への基盤作り：教育改革と研究開発体制の再構築

Ⅱ－１　教育改革

（１）リテラシー教育

＜具体目標１＞

文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・ＡＩを習得

（取組）

- 大学・高専における、リテラシーレベルのモデルカリキュラムを踏まえた教材の開発と全国展開（2020年度）【文・経】
- 大学・高専における、リテラシーレベルの認定教育プログラム（（４）参照）の普及促進（2021年度）【CSTI・文・経】
- カリキュラムに数理・データサイエンス・ＡＩ教育を導入するなどの取組状況等を考慮した、大学・高専に対する運営費交付金や私学助成金等の重点化を通じた積極的支援（2020年度）【文】
- 全ての大学・高専の学生が、リテラシーレベルの優れた数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラムの履修ができる環境を確保（ＭＯＯＣ や放送大学の活用拡充等を含む）（2022年度）【CSTI・文・経】
- 全国の大学・高専の数理・データサイエンス・AI教育（リテラシーレベル）に提供可能な実データ・実課題を民間企業等から公募し、整理、必要な処理をしたうえで、各大学・高専向けにホームページ等にて公表・提供（2020年度）【文・経】
- 数理・データサイエンスに関する大学・高専のコンソーシアムを組織し、全国的な教育支援体制（FD活動、コンテンツ充実等）を整備し、継続的に運営（2021年度）【文】

AI戦略2019FUにおける数理・DS・AI教育に関する記載（抜粋）

Ⅱ．未来への基盤作り：教育改革と研究開発体制の再構築

Ⅱ－１　教育改革

（２）応用基礎教育

＜具体目標１＞

文理を問わず、一定規模の大学・高専生（約25万人卒/年）が、自らの専門分野への数理・データサイエンス・ＡＩの応用基礎力を習得

このために、大学入試において数理・データサイエンス・ＡＩの応用基礎力の習得が可能と考えられる入学者の選抜を重点的に行う大学を支援

（取組）

- リテラシーレベルの議論も参考に、大学・高専における、応用基礎レベルのモデルカリキュラムの検討（2020年）及びそれに基づく教材の開発と全国展開（2021年度）【文・経】
- カリキュラムに数理・データサイエンス・ＡＩ教育を導入するなどの取組状況等を考慮した、大学・高専に対する運営費交付金や私学助成金等の重点化を通じた積極的支援（2020年度）【文】
- 大学・高専における、応用基礎レベルの認定教育プログラム（（４）参照）に係る制度の構築・運用（2021年度）【CSTI・文・経】
- 一定規模の大学・高専生（約25万人卒/年）が、卒業までに、自らの専門分野での数理・データサイエンス・ＡＩの学習・学修を経験できる環境を整備（外国の優良教材の活用も含むＭＯＯＣの活用・拡充、外部専門家、ＡＩ×専門分野のダブルメジャー等の学位取得が可能な制度の活用を含む）（2022年度）【文】
- 全国の大学・高専の数理・データサイエンス・AI教育（応用基礎レベル）に提供可能な実データ・実課題を民間企業等から公募し、整理、必要な処理をしたうえで、各大学・高専向けにホームページ等にて公表・提供（2021年度）【文・経】
- 数理・データサイエンスに関する大学・高専のコンソーシアムを組織し、全国的な教育支援体制（FD活動、コンテンツ充実等）を整備し、継続的に運営（2021年度）【文】

AI戦略2019FUにおける数理・DS・AI教育に関する記載（抜粋）

Ⅱ．未来への基盤作り：教育改革と研究開発体制の再構築

Ⅱ－１　教育改革

（4）数理・データサイエンス・ＡＩ教育認定制度

＜具体目標1＞

大学・高専の卒業単位として認められる数理・データサイエンス・ＡＩ教育のうち、優れた教育プログラムを政府が認定する制度を構築、普及促進

（取組）

- 応用基礎レベルの認定制度創設に向けて、企業・大学・高専・高校等の関係者による議論の枠組みにおいて、認定方法やレベル別の認定基準、産業界での活用方策等を検討（2020年度）【CSTI・文・経】
- 数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）検討会議の報告書を踏まえた認定制度を構築し、その運用を開始及び全国への周知（2020年度）【CSTI・文・経】
- 認定制度検討会議の報告書を踏まえ、大学での活用や産業界の連携・協力を促進するため、認定制度の改善・見直しに関する検討の場を設定等、数理・データサイエンス・ＡＩ教育の導入や改善を後押しするための積極的支援。（2020年度）【CSTI・文・経】
- 数理・データサイエンス・AI教育の専門的な知見や大学教育にかかる幅広い知見を有する適切な機関等において審査を実施（2021年度）【文】

数理・データサイエンス・AI教育の取組

数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進

令和３年度要求額　10億円
（令和２年度予算額　10億円）
※国立大学法人運営費交付金の内数

文部科学省

● 背景・課題

✓ デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎などの必要な力を全ての国民が育み、あらゆる分野で人材が活躍する環境を構築する必要

✓ AI戦略2019では、**2025年度を目標年度**として、**①文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人 卒/年）が初級レベルの能力を習得**すること、**②大学・高専生（約25万人 卒/年）が、自らの専門分野への応用基礎力を習得**することが掲げられている

⇒ ・上記目標に向け、国公私立大学等への展開を引き続き取り組む必要
・全国への普及・展開をより一層加速するため、数理・データサイエンス・AI教育に必要な教材開発や教育リソースの整備を進めるとともに、教育の実施体制の強化など図る必要

取組内容

➢ **6大学を拠点校**として、全学的な数理・データサイエンス・AI教育を先行的に実施するとともに、拠点校を中心に形成するコンソーシアムにおいて、**モデルカリキュラム**を踏まえた**教材等の開発**や、教育に活用可能な**社会の実課題・実データの収集・整備**等を実施

➢ **30大学を協力校・特定分野協力校**として、**全国の国公私立大学等への普及・展開**を図るとともに、教育連携ネットワークを形成し、**教えることができる教員を増やすためのワークショップやFD活動等を実施**

※協力校と特定分野協力校は重複している大学あり

➢ **61大学を連携校**として、自らの教員を養成するとともに、ワークショップやFDに積極的に参画し、数理・データサイエンス・AI 教育の普及・促進の観点から、地域における大学との連携等を主体的に実施

＋

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の構築・運用



私立大学等における数理・データサイエンス・ＡＩ教育の充実　令和３年度要求額　１０億円（新規）

文部科学省

背景・取組

AI戦略や成長戦略の実現に向けて、学部学生の約８割を占める私立大学についても、リテラシーレベルを土台とした数理・データサイエンス・AI教育を全学的に進めていく必要がある。このため、実施に向けた体制を構築し中長期的なビジョンのもとに、モデルカリキュラムの策定や教材開発、全国への普及展開を進める私立大学等に対して支援を行う。

〔ＡＩ戦略2019 令和元年６月１１日〕

文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・ＡＩを習得。

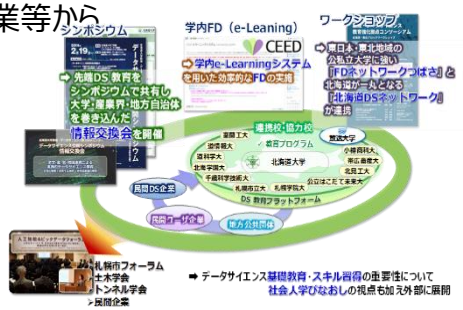
〔成長戦略フォローアップ（令和２年７月１７日）〕

大学及び高等専門学校における産業界のニーズを踏まえた数理・データサイエンス・AIの優れた教育プログラムを認定する制度を構築し、リテラシーレベルについて2020年度中に運用を開始するとともに、大学・専修学校等において数理・データサイエンス・AI分野等を中心とした産学連携プログラムの開発等を進める。

大学の取組事例

北海道大学（国立）が拠点校となり、「数理的データ活用能力育成特別教育プログラム～数理・データサイエンス教育研究センターの設置～」事業において小樽商科大学（国立）、北海学園大学（私立）等複数の大学と連携し、標準カリキュラム及び数理・データサイエンス教育研究ＰＦの構築、ｅラーニング等のシステムの展開・波及、各大学で更新・開発された教育コンテンツのフィードバック、自治体や企業等から提供された実データや課題の教材化、通信教育を活用した講義内容の公開、データサイエンスの実践的な集中開講等を実施。

※国立大学については運営費交付金において支援



支援内容

○ 私立大学等の実態も踏まえ、**モデルカリキュラムの策定や教材等を開発**し、**社会における具体の実課題や実データを活用した実践的教育**など、**先進的な取組みを実施**する大学等

○ **教育連携ネットワークを形成し、ＡＩ教育可能な教員を増やすためのワークショップやFD活動等を主体的に実施するなど、他の私立大学等への普及・展開を図る**大学等

○ 自大学における数理・データサイエンス・AI 教育導入に向けて、**ワークショップやＦＤ活動に参画する**大学等

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム

ホーム | コンソーシアム概要 | 分科会活動 | トピックス | 成果物 | リンク



数理・データサイエンス教育が未来社会を拓く

数理・データサイエンス教育強化を目的として国立大学に設置されたセンターが結集して，各大学内での数理・データサイエンス教育の充実のための取組成果を全国への波及させるための活動を推進し，数理・統計・情報を基盤として未来世界を開拓できる人材の育成を目指します．

モデルカリキュラム（リテラシーレベル）



教育用データ提供システム

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/

各ブロックの活動情報

各ブロックの分担範囲等

北海道・東北ブロック　関東・首都圏ブロック　中部・東海ブロック

近畿ブロック　中国・四国ブロック　九州・沖縄ブロック

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムの概要

どの大学・どの学部に進学しても、全ての学生が今後必要となる数理的思考力とデータ分析・活用能力を体系的に身に付けることが出来る環境の構築を目指す

拠点校

北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター	滋賀大学 データサイエンス教育研究センター	大阪大学 数理・データ科学教育研究センター
東京大学 数理・情報教育研究センター	京都大学 データ科学イノベーション教育研究センター	九州大学 数理・データサイエンス教育研究センター

■ 3分科会及び特別委員会を設置して活動

カリキュラム分科会

- 標準カリキュラムの作成

教材分科会

- 共通教材の作成

教育用データベース分科会

- 教育用データベースの構築と公開

モデルカリキュラム（リテラシーレベル）の全国展開に関する特別委員会

- 産業界・私大メンバーを中心に構成
- 数理・データサイエンスAI教育プログラム認定制度の検討と連携・連動
- カリキュラム分科会の検討を踏まえつつ、産業界、私大の取組状況を反映し、今後の社会で求められるリテラシーとして学修すべきモデルカリキュラムを検討

■ コンソーシアムの主な役割

- 全国的なモデルとなる標準カリキュラム・教材を協働して作成するとともに，他大学への普及方策（例えば全国的なシンポジウムの開催等）の検討・実施
- 各大学のセンターにおける教育内容・教育方法の好事例を共有し，より取組を発展させるための議論を行うなど，センターの情報交換等を行うための対話の場の設定

■ 協力校の選定と全国展開に向けたブロック化

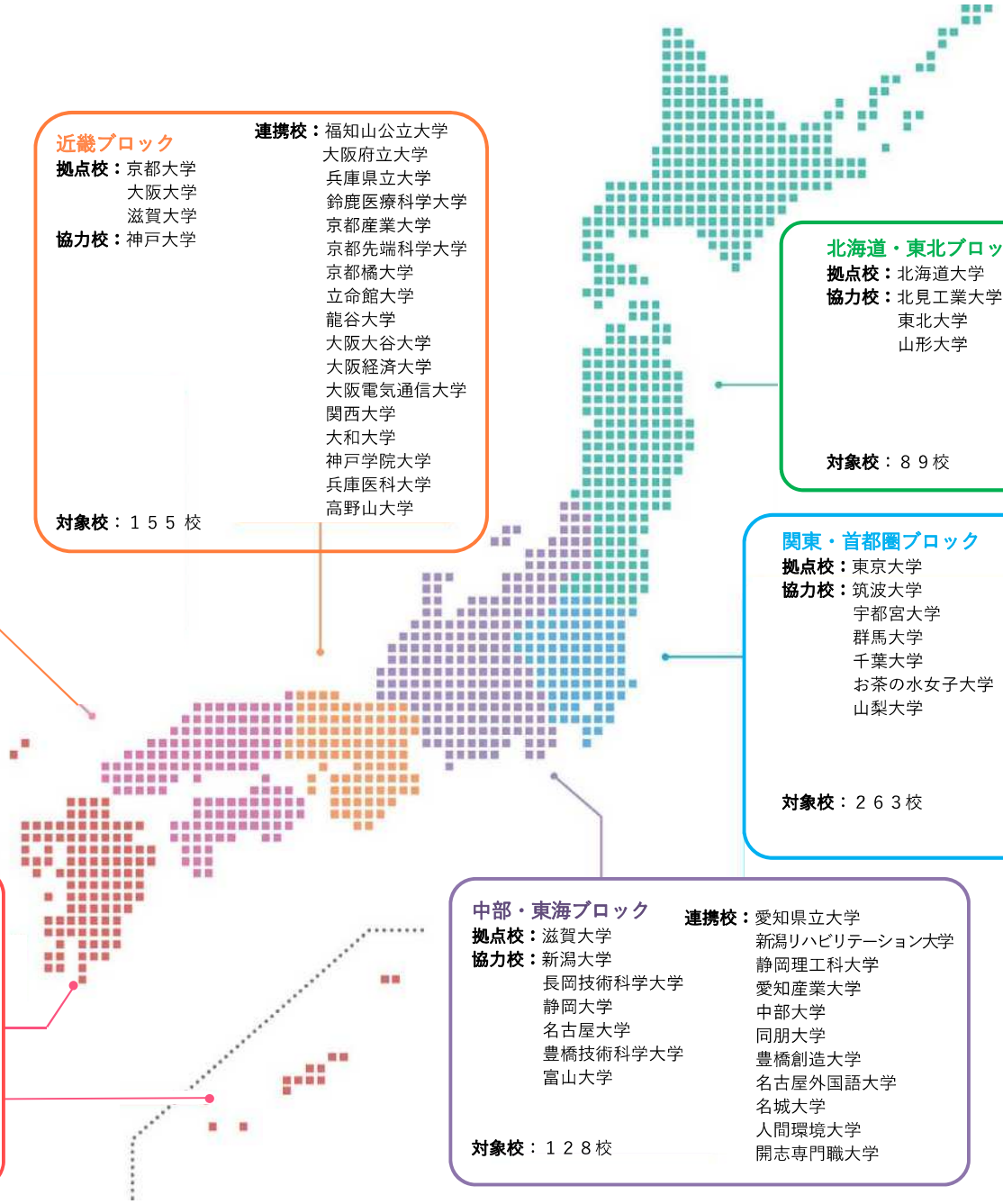
- 数理・データサイエンス教育強化の全国展開加速のために2019年度より6ブロック化して分担して活動

■ その他の活動

- センター及びコンソーシアムの成果指標の設定
- 各センターのシンポジウム等の主催・後援
- 調査活動
- 広報活動(ホームページ，ニュースレター)

コンソーシアム会員校と６ブロック

拠点校	６校
協力校	２３校
特定分野協力校	７校
連携校	７０校
延	１０６校



近畿ブロック
拠点校：京都大学
大阪大学
滋賀大学
協力校：神戸大学
対象校：１５５校
連携校：福知山公立大学
大阪府立大学
兵庫県立大学
鈴鹿医療科学大学
京都産業大学
京都先端科学大学
京都橘大学
立命館大学
龍谷大学
大阪大谷大学
大阪経済大学
大阪電気通信大学
関西大学
大和大学
神戸学院大学
兵庫医科大学
高野山大学

北海道・東北ブロック
拠点校：北海道大学
協力校：北見工業大学
東北大学
山形大学
対象校：８９校
連携校：公立はこだて未来大学
公立千歳科学技術大学
札幌市立大学
札幌医科大学
岩手県立大学
札幌大学
天使大学
星槎道都大学
北海道科学大学
東北生活文化大学
・短期大学部

中国・四国ブロック
拠点校：大阪大学
協力校：島根大学
岡山大学
広島大学
愛媛大学
連携校：公立鳥取環境大学
島根県立大学
高知県立大学
岡山理科大学
広島工業大学
山口学芸大学
・山口芸術短期大学
四国大学
対象校：６８校

関東・首都圏ブロック
拠点校：東京大学
協力校：筑波大学
宇都宮大学
群馬大学
千葉大学
お茶の水女子大学
山梨大学
対象校：２６３校
連携校：前橋工科大学
横浜市立大学
明海大学
江戸川大学
敬愛大学
慶応義塾大学
成蹊大学
創価大学
東京都市大学
東京理科大学
武蔵野大学
立教大学
早稲田大学
放送大学

九州・沖縄ブロック
拠点校：九州大学
協力校：宮崎大学
琉球大学
長崎大学
連携校：福岡女子大学
九州産業大学
九州情報大学
久留米工業大学
西南学院大学
福岡工業大学
保健医療経営大学
長崎ウエスレヤン大学
熊本学園大学
日本文理大学
第一工業大学
対象校：７９校

中部・東海ブロック
拠点校：滋賀大学
協力校：新潟大学
長岡技術科学大学
静岡大学
名古屋大学
豊橋技術科学大学
富山大学
対象校：１２８校
連携校：愛知県立大学
新潟リハビリテーション大学
静岡理工科大学
愛知産業大学
中部大学
同朋大学
豊橋創造大学
名古屋外国語大学
名城大学
人間環境大学
開志専門職大学

特定分野協力校：
小樽商科大学(社会科学)
東北大学(工学)
茨城大学(農学)
筑波大学(社会工学)
東京医科歯科大学(医学・歯学)
神戸大学(社会科学)
広島大学(教育学・教員養成)

国立高等専門学校機構

数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム　～データ思考の涵養～

● **背 景**

政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」を数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定。

● **学修目標・カリキュラム実施にあたっての基本的考え方**

今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを**日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養**を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、**人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できる**ようになること。

1. 数理・データサイエンス・AIを活用することの**「楽しさ」**や**「学ぶことの意義」**を重点的に教え、学生に好奇心や関心を高く持ってもらう魅力的かつ特色ある教育を行う。数理・データサイエンス・AIを活用することが「好き」な人材を育成し、それが自分・他人を含めて、次の学修への意欲、動機付けになるような**「学びの相乗効果」**を生み出すことを狙う。
2. 各大学・高専においてカリキュラムを実施するにあたっては、各大学・高専の教育目的、分野の特性、個々の学生の学習歴や習熟度合い等に応じて、本モデルカリキュラムのなかから適切かつ柔軟に**選択・抽出し、有機性を考慮した教育を行う**。
3. **実データ、実課題を用いた演習**など、**社会での実例を題材**に数理・データサイエンス・AIを活用することを通じ、現実の課題と適切な活用法を学ぶことをカリキュラムに取り入れる。
4. リテラシーレベルの教育では**「分かりやすさ」**を重視した教育を実施する。

● **モデルカリキュラムと教育方法**

導入	**1. 社会におけるデータ・AI利活用** 1-1. 社会で起きている変化 1-2. 社会で活用されているデータ 1-3. データ・AIの活用領域 1-4. データ・AI利活用のための技術 1-5. データ・AI利活用の現場 1-6. データ・AI利活用の最新動向	● データ・AI利活用事例を紹介した動画（MOOC等）を使った**反転学習**を取り入れ、講義ではデータ・AI活用領域の広がりや、技術概要の解説を行うことが望ましい。 ● 学生がデータ・AI利活用事例を調査し発表する**グループワーク**等を行い、一方通行で事例を話すだけの講義にしないことが望ましい。
基礎	**2. データリテラシー** 2-1. データを読む 2-2. データを説明する 2-3. データを扱う	● 各大学・高専の特徴に応じて**適切なテーマ**を設定し、**実データ**（あるいは模擬データ）を用いた講義を行うことが望ましい。 ● 実際に手を動かしてデータを可視化する等、学生自身がデータ利活用プロセスの一部を**体験**できることが望ましい。 ● 必要に応じて、フォローアップ講義（**補講**等）を準備することが望ましい。
心得	**3. データ・AI利活用における留意事項** 3-1. データ・AIを扱う上での留意事項 3-2. データを守る上での留意事項	● データ駆動型社会のリスクを**自分ごと**として考えさせることが望ましい。 ● データ・AIが引き起こす課題について**グループディスカッション**等を行い、一方通行で事例を話すだけの講義にしないことが望ましい。
選択	**4. オプション** 4-1. 統計および数理基礎 4-2. アルゴリズム基礎 4-3. データ構造とプログラミング基礎 4-4. 時系列データ解析 4-5. テキスト解析 4-6. 画像解析 4-7. データハンドリング 4-8. データ活用実践（教師あり学習） 4-9. データ活用実践（教師なし学習）	● 本内容は**オプション**扱いとし、大学・高専の特徴に応じて学修内容を選択する。 ● 各大学・高専の特徴に応じて**適切なテーマ**を設定し、**実データ**（あるいは模擬データ）を用いた講義を行うことが望ましい。 ● 学生が希望すれば本内容を受講できるようにしておくことが望ましい（**大学間連携**等）。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム
認定制度

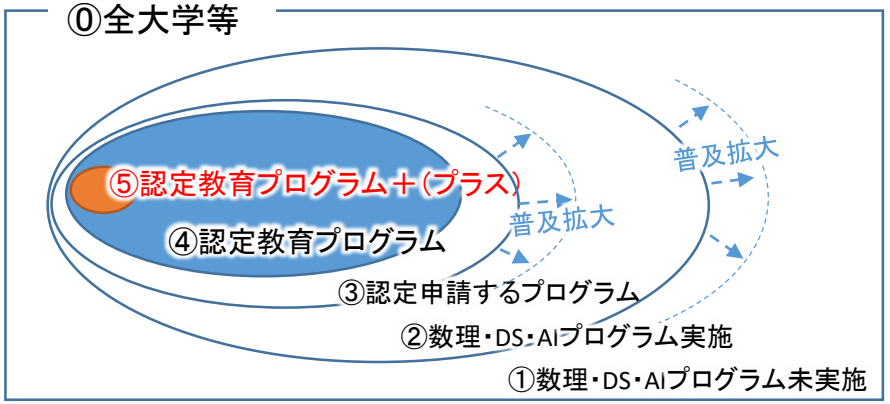
数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）の概要

認定制度（リテラシーレベル）の基本的考え方

- 学部学科を問わず、全学生を対象とするプログラムを評価
- 大学等が機関としてコミットし、不断の改善を評価
- 社会の要請に応え、学生、産業界、地域等のステークホルダーからの支持を得らえる実践を評価
- 各大学等の特徴（理念、分野、規模、学生の習熟度等）を踏まえた多様な取り組みを評価
- 教育プログラムの普及に貢献する取り組みを評価

✓ 多くの大学等が、数理・データサイエンス・AI教育を推進
✓ より質の高い教育プログラムへの挑戦を後押し

２段階制度として具体化



２段階制度の方針

●認定教育プログラム

裾野拡大

多くの大学・高専への優れた教育プログラムの普及を後押しする観点から、一定の要件を満たした教育プログラムを認定　→（上図の④）

★認定要件
全学開講、教育内容、教育体制等、一定の要件の適合を原則書面にて審査

- 履修状況
- 教育内容
- 教育方法
- 教育体制
- 自己点検・評価
- 情報公開

多くの大学の認定取得を促進

●認定教育プログラム＋（プラス）

質の向上

他大学・高専の規範となり、かつステークホルダーから支持される、先導的で独自の工夫・特色のある優れた教育プログラム」を選定　→（上図の⑤）

★認定要件
「授業内容」及び「学生の学習支援」の「先進性」「独創性」に着目し、総合的に判断

授業内容　**学習支援**

実現するための工夫例
- 産業界・地域等との連携
- 授業方法（e-learning等）
- グローバルな取組　等

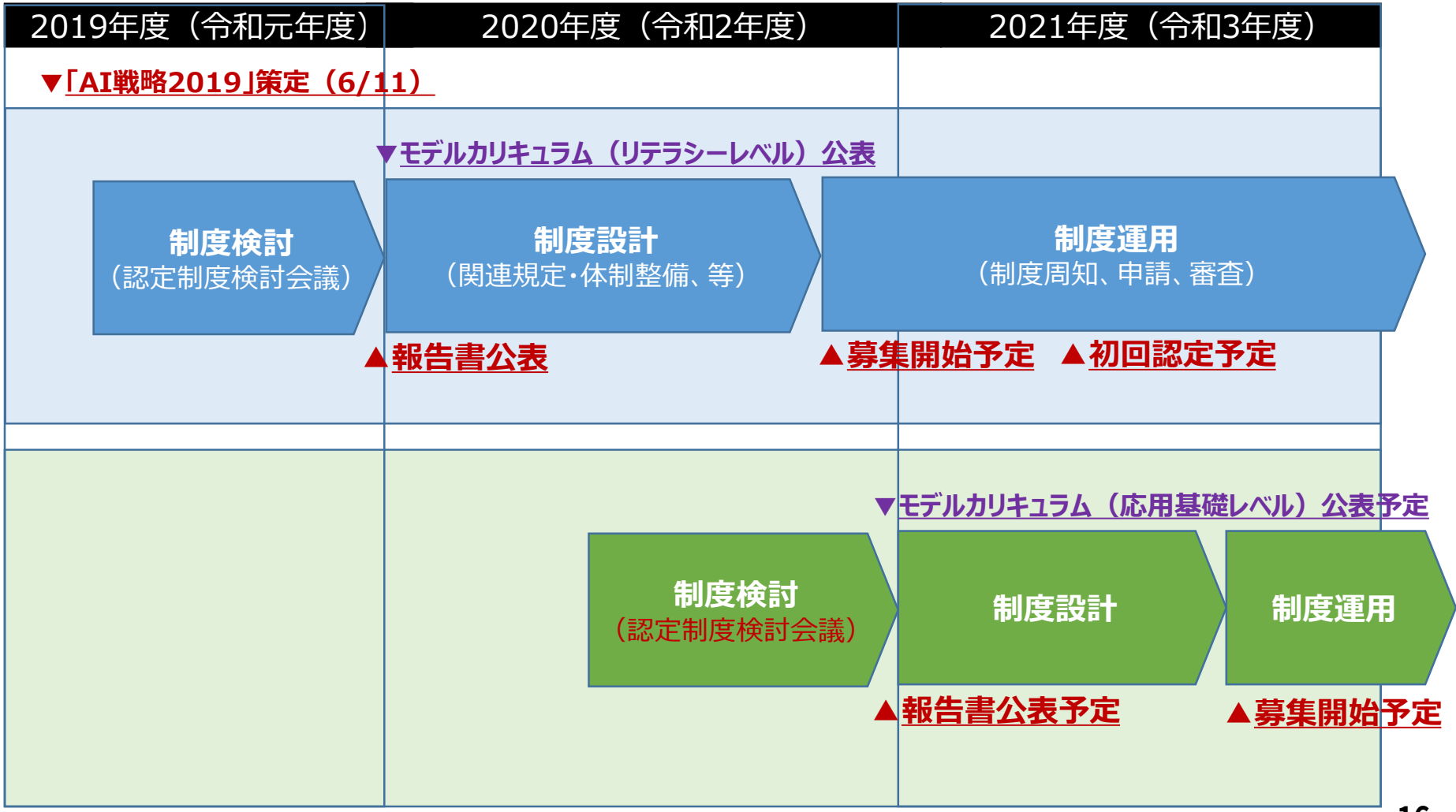
質の高い教育を厳選

【「『数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）』の創設について」（報告書）より 】

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度に関するスケジュール概要

【目標】

- 「リテラシーレベル」：　2020年度内の制度運用開始
- 「応用基礎レベル」：　2020年度内に制度検討、2021年度内の制度運用開始



２段階認定の方針

		認定教育プログラム	認定教育プログラム＋（プラス）
対象		• 要件を満たした教育プログラムを認定	• 左記に加え、その中でも特に「他大学・高専の規範となり、かつステークホルダーから支持される、先導的で独自の工夫・特色のある教育プログラム」を選定
ねらい		• 優れた教育プログラムの普及	• 「他大学・高専の規範となり、かつステークホルダーから支持される、先導的で独自の工夫・特色のある教育プログラム」への挑戦を後押し
申請資格		• 大学等が機関として申請したものであること • 申請対象となる教育プログラムが、大学等の正規課程であること • 当該教育プログラムに関して、１年以上の活動実績があること	• 「認定教育プログラム」とは別に申請したものであること（同時申請も可能） • 「認定教育プログラム」として認定されているものであること（同時申請の場合は、「認定教育プログラム」に認定されること） • 「認定教育プログラム」の申請資格を満たすこと
認定要件	基本的要件	• **全学に向けて開講していること** • **人文・社会科学分野等を含む複数の専門分野の学生が履修していること** • **申請する大学等において履修すべき学生数及び履修率の目標をその根拠とともに示し、かつ、その目標を達成するための具体的な計画を年限とともに示すこと**	• **全学の50%以上の学生が履修していること、または３年以内にそれを実現する具体的な計画を示すこと**
	その他	• 教育プログラム（リテラシーレベル）の具備すべき内容等を踏まえた認定要件を満たすこと	• 先導的で独自の工夫や特色ある内容であることを評価するための視点を定め、総合的に選定（画一的な基準とはしない）
審査方法		• 多くの申請が見込まれることから、原則、外形的に判断可能な基準に基づく書類審査とする	• 書面では判断できない内容の評価が必要であり、書面に加え、実地調査やヒアリングを含めた審査とする

「認定教育プログラム」の認定要件

主な審査項目、審査の観点は、次の通り。

審査項目	考え方	主な審査の観点
教育内容	• リテラシーとして必要な知識等を学生に偏りなく修得させる • 分かりやすさを重視し、数理・データサイエンス・AIを活用することの「楽しさ」、「学ぶことの意義」を伝え、学生の好奇心や関心を高める	• モデルカリキュラムも参考に、数理・データサイエンス・AIに対する以下の項目を含む適切な教育を実施 ➢ 社会変化に深く寄与し、自らの生活に密接に結びついている ➢ 日常生活や社会の課題を解決する有用なツールではあるが、万能ではなく、また、活用においてはセキュリティ、プライバシー等重要な留意事項がある ➢ 様々な適用領域のドメイン知識と組み合わせることで価値を創出しうる
教育方法	• 学生が体系的に履修できるような配慮を促す • 多様な学生に学修目標を達成させる	• カリキュラムツリーの整備と履修指導の実施 • シラバスの記載の充実 • 自らの特徴を踏まえた取組（学内外の資源利用、ICT環境の活用、単位化されない学習支援等）
教育体制	• 大学に機関全体として教育の質向上に責任をもって関与させる	• 大学が機関全体として、教育プログラムの管理運営や質向上に関与する体制の整備（管理運営の責任者として専任教員を配置など） • 学部・学科に関係なく希望する学生が受講可能となる体制の整備 • 授業内外での指導、質問を受け付ける仕組みの整備
自己点検・評価	• 社会ニーズを踏まえた教育を行い、その質を保証させる • 履修者数・履修率を向上させる • 情報公開と組み合わせて、教育プログラムの不断の改善を促す	• 以下のような情報を把握する体制の整備 ➢ 学生の履修状況、習得状況、満足度 ➢ 修了者の進路・活躍状況　　等 • 上記の結果をもとに不断の改善・進化に向けた取組の整備 ➢ より教育効果の高い授業内容・方法への改善 ➢ 履修者数・履修率向上に向けた改善　等
情報公開	• 教育プログラムの情報を学内外に広く公表することで、教育プログラムの不断の改善を促す	• 教育プログラムの情報をウェブサイトや大学案内等を通じて、学生、教職員を含め、広く社会に公表していること

「認定教育プログラム＋（プラス）」の認定要件

「授業内容」及び「学生の学習支援」に関し、その工夫の「先進性」「独創性」に着目し、総合的に判断

【審査の観点】

- 「他大学・高専の模範となり、かつ、ステークホルダーから支持される教育プログラム」であることを選定するにあたり、「授業内容」及び「学生の学習支援」を評価軸とし、その工夫の「先進性」「独創性」に着目。
- 不断の改善やそのための体制など、質保証の取り組みについては、より高いレベルでの実施を評価する。

授業内容

＜審査の観点(例）＞

- 分かりやすさの重視
- 学習意欲が高まる内容
- 学生の習熟度や専門性を踏まえた学習内容
- 学生の習熟度や専門性に応じた授業選択

学生の学習支援

＜審査の観点(例）＞

- 学習支援システムの構築
- 補完的な教育の実施
- インターンシップ先での実践やTAとしての指導
- 学修成果の可視化等の導入

実現するための工夫の例（先進性や独創性に着目）

地域との連携・協力

＜工夫の例＞

- 自治体・地元企業・団体など地域との協力関係の構築
- 地域の実課題の授業への導入

産業界との連携・協力

＜工夫の例＞

- 産業界との協力関係の構築
- 産業界の実課題の授業への導入
- 科目履修者の産業界での活躍
- 実務家教員の活用

授業方法

＜工夫の例＞

- MOOC、e-learningの活用
- アクティブラーニング、反転学習の導入
- 実データ・実課題の利用

他大学への波及可能性等

＜工夫の例＞

- 大学間の連携、教育プログラムや教材の公開・展開状況
- 社会ニーズを踏まえたプログラム改善手法

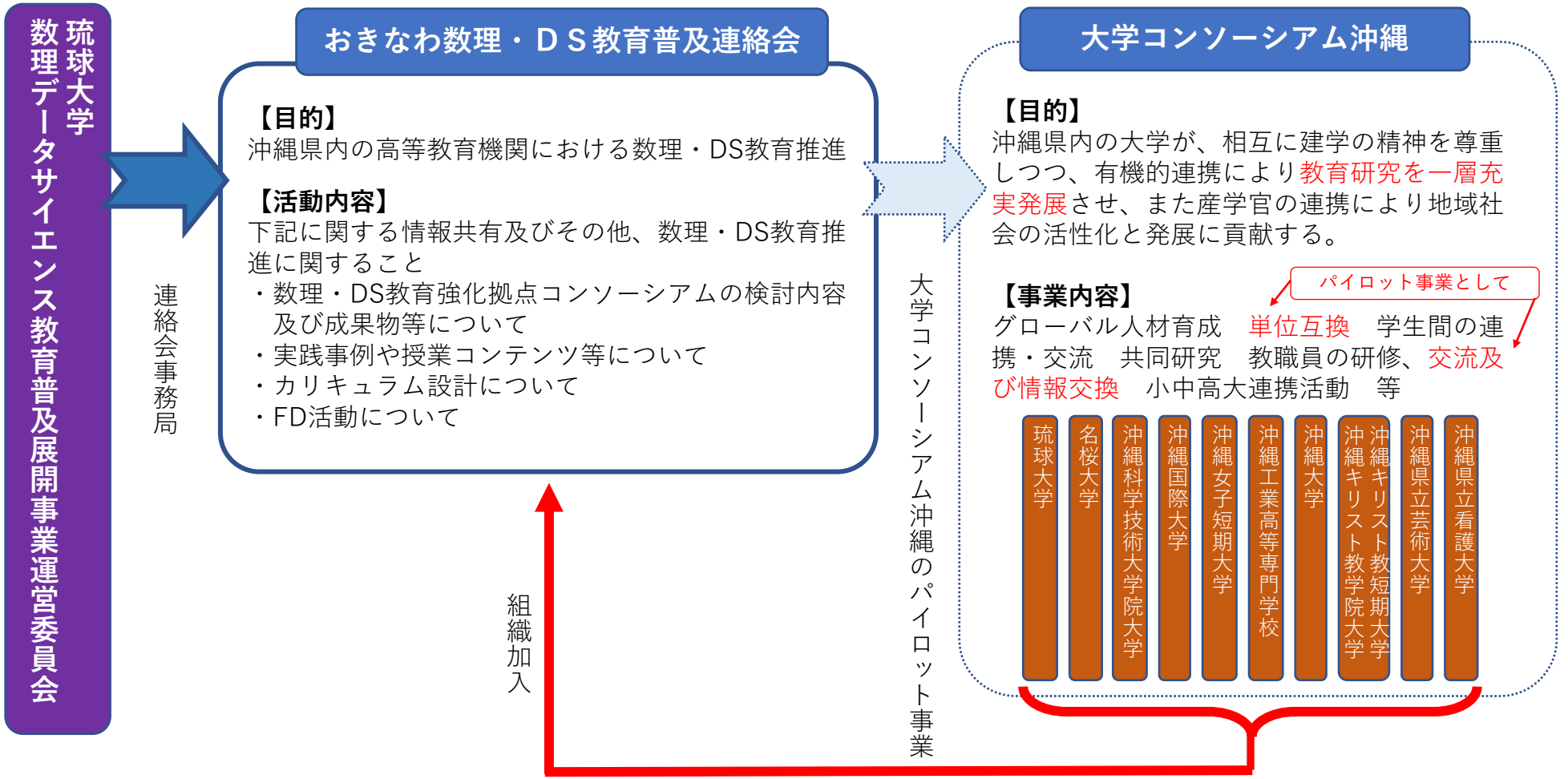
グローバルな取組

＜工夫の例＞

- 海外の大学との単位互換や連携教育
- 外国人留学生等への対応
- 海外カリキュラムや教材の利用
- カリキュラム海外展開

…

沖縄県内高等教育機関の数理・データサイエンス(DS)教育普及にむけて



2021.1.29現在

大学コンソーシアム沖縄加盟校
おきなわ数理・データサイエンス教育普及連絡会参加状況

（単位：人）

機関名	区分		合計	団体加入状況
	教員	事務		
沖縄キリスト教学院大学 ・沖縄キリスト教短期大学	3	1	4	
沖縄大学	2	1	3	○
沖縄女子短期大学	4	3	7	○
沖縄国際大学	4	1	5	○
沖縄県立芸術大学	0	0	0	
名桜大学	1	1	2	○
沖縄県立看護大学	0	1	1	○
沖縄工業高等専門学校	2	0	2	
沖縄科学技術大学院大学（OIST）	1	1	2	
琉球大学	13	5	18	○
小計	30	14	44	6
企業・一般	3		3	0
合計			47	6

資料４－４

入試改革の概要
各大学の入試説明

沖縄キリスト教学院大学
沖縄キリスト教短期大学
沖縄県立看護大学
沖縄県立芸術大学
沖縄国際大学
沖縄女子短期大学
沖縄大学
名桜大学
琉球大学（五十音順）

University Consortium Okinawa

\WEB/

県内大学 入試説明会

～親子のための進路研修会～

2020年11月23日(月･祝)

13:00～16:30

Zoomにて

沖縄県高等学校ＰＴＡ連合会
大学コンソーシアム沖縄　共催
後援　沖縄県教育委員会・沖縄県高等学校長協会

対象
高校生・保護者
できれば，親子でご一緒にご参加ください。

参加申し込み
10月21日～11月16日
webからお申し込みください（裏面）

ついにWEBで開催。

13:00　開会挨拶
13:05　大学入試改革の概要説明
13:40　各大学の入試説明と質疑応答①
14:40　各大学の入試説明と質疑応答②
15:40　各大学の入試説明と質疑応答③

全てzoomにて
ご覧いただけます。
質問はチャットで
お気軽に。

最大3大学のセッションにご参加いただけます。

参加申し込み

10月21日～11月16日

お申し込みはこちらから！

右上のQRコードからお申し込みください。
Zoomの招待をお送りするために，事前に参加申し込みをしてください。
お申し込みについてご不明な点は，
大学コンソーシアム沖縄事務局までご連絡ください。

親子で聞いて、親子で入試を知る。

最新情報はこちらから！

【お問い合わせ先】
大学コンソーシアム沖縄事務局
〒903-0213
沖縄県中頭郡西原町字千原１
（TEL）098-895-8037
（E-mail）chikikakui@acs.u-ryukyu.ac.jp

県内大学WEB入試説明会　～親子のための進路研修会～　参加状況

（単位:ﾒｰﾙｱｶｳﾝﾄ数）

区分	時間帯	全体説明会
大学入試改革の概要説明	13:05～13:35	158

（単位:ﾒｰﾙｱｶｳﾝﾄ数）

区分	時間帯	右の計	琉球大学	名桜大学	沖縄大学	沖縄女子短期大学	沖縄国際大学	沖縄県立芸術大学	沖縄県立看護大学	沖縄ｷﾘｽﾄ教学院大学・短期大学
①各大学の入試説明と質疑応答	13:40～14:30	215	102	24	21	6	23	8	19	12
②各大学の入試説明と質疑応答	14:40～15:30	160	29	35	17	6	34	6	18	15
③各大学の入試説明と質疑応答	15:40～16:30	103	21	18	12	6	24	5	8	9
計		478	152	77	50	18	81	19	45	36

ID	本日ご参加いただいた方	高校名(保護者は子の高校名)	あなたが参加したセクションを全てお選びください。	会はいかがでしたか？	どのような点が「満足」「まあ満足」でしたか？	どのような点が改善されると「満足」「まあ満足」していただけそうですか？	どのような点が「不満」「やや不満」でしたか？	本日の説明会に参加したご感想やご意見をお書きください。「ここがよかった」「こういった情報があるとよりよかった」等，具体的に教えていただけると幸いです。	大学コンソーシアム沖縄について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。	沖縄県高等学校PTA連合会について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。
1	高校2年生;	沖縄尚学高校	大学入試改革の概要説明;沖縄県立看護大学;名桜大学;琉球大学;	まあ満足	大学の雰囲気が知ることができたのと、入試で変化があったところなど募集要項を注意してみたほうがいいポイントがわかった					
2	高校3年生;	糸満高	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;	満足	オンライン			質問が出来た	ないです	ないです
3	申し込んだが，何らかの理由で参加できなかった									
4	申し込んだが，何らかの理由で参加できなかった								**また開催していただけたら助かります**	
5	高校2年生;	知念高校	琉球大学;	まあ満足	大学の先生方の雰囲気や進みたい学部への情報などが知れて満足でした。					
6	高校3年生;教員;	沖縄県立中部農林高校	琉球大学;名桜大学;沖縄大学;	満足	パンフレットでは知り得ない特徴が掴めました。また、パンフやオープンキャンパスで紹介があった内容でも、改めて聞いて理解が深まった言葉や制度もありました。			大学間によって、HP掲載済みの動画や資料を確認することで時間を使っている部分があったことが残念でした。（興味がある生徒は、既にチェック済みなので）予め、申し込み者から質問を受けての、質問取捨選択があってもいいかなと思いました。	今回の企画も有意義でした。いつもありがとうございます。	
7	高校3年生;	北部農林高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	知りたいことが分かりました			分かりやすく説明してもらえてよかったです		
8	高校3年生;	興南高校	琉球大学;	満足	大学のパンフレットには載っていなかった情報もあって、さらに理解を深めることができた。			琉球大学が行っている独自の取り組みや研究について、写真や動画など、取り組みの様子がわかるものがあるとよかったなと思います。		
9	高校1年生;**保護者**;	糸満高校	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;沖縄大学;名桜大学;	満足	大学と高校の違いが分かり、これからやる事について見出せることが出来ました。 また、自分のモチベーションが上がらせてくれる説明会でした。とても良かったです。			沖縄大学のプレゼーションが分かりやすく良かったです。		
10	**保護者**;	興南高校	大学入試改革の概要説明;沖縄大学;琉球大学;	普通						
11	高校1年生;	具志川高校	大学入試改革の概要説明;沖縄県立看護大学;琉球大学;沖縄キリスト教学院大学;沖縄キリスト教短期大学;	満足	説明がわかりやすくどのような大学かがわかったからです。					
12	高校1年生;**保護者**;	普天間高校	大学入試改革の概要説明;沖縄キリスト教短期大学;沖縄キリスト教学院大学;沖縄女子短期大学;琉球大学;	まあ満足	各大学について知りたいことを知ることができた。 時間の都合上省略する部分があったため、次の機会にはもう少し余裕を持てると良いと思った。			パワーポイントの資料を事前にダウンロードできたのが良かった。 できればすべての大学に用意していただけるとより良い。 在学中の方のお話をきく機会があったら面白いかなと思った。 キャンパス内の写真を見てみたいと思った。 今回、このような機会をもうけてくださり、ありがとうございました。 将来について、これからも真剣に考えていきます。		
13	高校3年生;**保護者**;	首里高校	名桜大学;	満足	知らなかったことが知れた。 名護までいかなくてもオンラインでも入試説明会が可能だとわかったこと。 質問に対して、的確に答えて頂けたこと			7に同じです。 ありがとうございました。		
14	教員;	沖縄県立北部農林高校	大学入試改革の概要説明;沖縄県立看護大学;沖縄国際大学;名桜大学;	満足	大学の変化していることが明確に理解できたから。			子供が理解できるように丁寧な説明下さったところ。全体の概要（変化）を確認できこと。		
15	高校1年生;	向陽高校	琉球大学;大学入試改革の概要説明;名桜大学;	まあ満足	家にいながら、説明が聞けたから。			質疑応答も聞けたので良かった		今後も、Zoomで行う説明会を行う機会を増やして欲しい
16	高校1年生;**保護者**;	興南高等学校	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;琉球大学;名桜大学;	まあ満足	自宅に居ながら、複数の大学の概要説明を受ける事ができた。			各大学の概要を気軽に視聴できるので、定期的にweb説明会を開催してもよいのでは？（コロナ禍に関わらず）	コロナ禍収束後は、是非合同説明会の実施を要望したい。	

ID	本日ご参加いただいた方	高校名(保護者は子の高校名)	あなたが参加したセクションを全てお選びください。	会はいかがでしたか？	どのような点が「満足」「まあ満足」でしたか？	どのような点が改善されると「満足」「まあ満足」していただけそうですか？	どのような点が「不満」「やや不満」でしたか？	本日の説明会に参加したご感想やご意見をお書きください。「ここがよかった」「こういった情報があるとよりよかった」等，具体的に教えていただけると幸いです。	大学コンソーシアム沖縄について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。	沖縄県高等学校PTA連合会について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。
17	高校1年生;	向陽高校	大学入試改革の概要説明;沖縄大学;琉球大学;	まあ満足	チャットでの質問に対して、丁寧に答えてくれていた。			入試の仕組みが親の世代よりも複雑になっているように思いますので、少し理解が進みました。	**年に何度かこうしたイベントを開いていただけたらと思います。**今日はどうもありがとうございました。	
18	高校3年生;**保護者**;	首里高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	説明してる方の話方が 聞き取りやすかったです			無駄のない進行で よかったです		
19	高校1年生;**保護者**;	向陽高校	大学入試改革の概要説明;沖縄キリスト教学院大学;琉球大学;沖縄キリスト教短期大学;	まあ満足	大学受験のことを少しでも理解できてよかった。			就職も気になるので就職率などの情報も詳しくあれば良いとも思いました。	今後も定期的にあると良いと思います。	
20	高校3年生;	ニセコ高校	名桜大学;	普通		案内の詳細明記をしてほしいです。そして、質問時間をもう少し長くとってもらえたら嬉しかったです。		学校の案内や、入試について知る機会があることはとてもいいことだと思います		
21	**保護者**;	美里高校	大学入試改革の概要説明;沖縄県立看護大学;名桜大学;琉球大学;	満足	分かりやすい内容でした。			建学の理念を伝えていただいた点がよかったです。	**コロナ禍でない場合も、webで開催して頂けましたら助かります。**	
22	**保護者**;	**沖縄県立久米島高等学校**	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;名桜大学;琉球大学;	満足	HP上だけでは分からない、生の情報を知る事が出来ました。					
23	高校2年生;		大学入試改革の概要説明;沖縄大学;名桜大学;琉球大学;	満足				質問に細かく答えてくださって分かりやすかった。		
24	高校1年生;**保護者**;	茨城県立境高等学校	大学入試改革の概要説明;名桜大学;沖縄県立看護大学;	まあ満足	今後の入試対策や学校の雰囲気等がわかった今回高校1年の子供と参加しましたが、 今後の受験の対策等が分かり、尚且つ学校の雰囲気等も少しですが分かったので参加して良かったです				特にありません。	
25	高校2年生;**保護者**;	コザ高校	沖縄国際大学;名桜大学;琉球大学;	まあ満足	各大学の情報や情報の入手先など、今後　進路を決めるための参考になる事がいっぱいあった。 沖縄国際大学さんの高校と大学の違いや、進路を選択に役に立つ問いかけなど、自分の大学の説明だけではなく、高校生にもわかりやすくてとても良かったです。			大学で取れる資格や就職状況等も教えていただけるといいと思いました。		
26	**保護者**;	興南高校	大学入試改革の概要説明;沖縄女子短期大学;沖縄県立芸術大学;	満足	大学入試改革の話が聞けて良かった。			県立芸術大学と沖縄女子短期大学に参加しました。ありがとうございました。		同様な講演会、説明会をどんどん開催してください。
27	高校2年生;**保護者**;	美里高校	大学入試改革の概要説明;沖縄県立看護大学;名桜大学;琉球大学;	満足	質疑応答時間も長くいろいろ聞くことが出来た。			コロナで今年の頭に申し込んでいた説明会は、ことごとく中止になってしまい **進学校ではない学校や塾に通っていない子供は情報がなかなか入ってきていませんでした。 なので今回参加できてよかったです。**	**看護だけの説明会も今後開催して欲しい**です。令和4年度からの募集要項など変更になる点、また令和3年度は特別な条件になっている学校もあるようなので、最新の情報を提供して欲しいです。	看護だけの説明会の開催を希望します。
28	高校1年生;**保護者**;	開邦高校	琉球大学;沖縄県立看護大学;	まあ満足	モチベーションに繋がった			質問が出なかった時に、過去の質問を提示して対応いただいたのでよかった		
29	高校2年生;**保護者**;	宮古高等学校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	質問に丁寧に応答してくれた。					
30	**保護者**;	美里高校	沖縄県立看護大学;名桜大学;琉球大学;	まあ満足	ようやく大学説明会を聞けたから			説明もわかりやすかったです。	看護の専門学校なども含めた説明会を開催して欲しいです。	看護の専門学校なども含めた説明会を開催して欲しいですす
31	高校3年生;**保護者**;	普天間高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	入試改革について改めて理解することができた					
32	申し込んだが，何らかの理由で参加できなかった									
33	**保護者**;	首里高校	琉球大学;沖縄大学;	まあ満足	距離感が近くて、理解しやすかった					

ID	本日ご参加いただいた方	高校名(保護者は子の高校名)	あなたが参加したセクションを全てお選びください。	会はいかがでしたか？	どのような点が「満足」「まあ満足」でしたか？	どのような点が改善されると「満足」「まあ満足」していただけそうですか？	どのような点が「不満」「やや不満」でしたか？	本日の説明会に参加したご感想やご意見をお書きください。「ここがよかった」「こういった情報があるとよりよかった」等，具体的に教えていただけると幸いです。	大学コンソーシアム沖縄について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。	沖縄県高等学校PTA連合会について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。
34	高校3年生;**保護者**;中2;	つくば開成国際	大学入試改革の概要説明;沖縄大学;琉球大学;	普通				家にいて聞けたのでよかった		
35	高校2年生;**保護者**;	首里高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	Web説明会なので音声が聞こえやすくとても理解できた			大学入試改革の説明はとても良かったです。		
36	高校3年生;**保護者**;	県立向陽高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	まあ満足	入試の内容が変わる理由がわかった。 zoomの経験ができた。			子供の話だと学校で、聞いたことと同じだったらしい。より具体的だとよかった。		
37	**保護者**;	首里高等学校	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;沖縄大学;琉球大学;	満足	各大学の特徴が聞けて満足です。また			大学改革の説明が聞くことができてよかった。	各大学選択して話を聞きたかった。	
38	高校2年生;**保護者**;	コザ高校	大学入試改革の概要説明;沖縄県立芸術大学;沖縄国際大学;沖縄女子短期大学;	満足	大学のホームページでは知ることの出来ない情報がしれたところがあったから			その場での質問だけに答えるのではなく今まで寄せられた質問に回答していて分かりやすかった		
39	高校1年生;**保護者**;	前原	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;沖縄大学;名桜大学;	まあ満足						
40	高校2年生;**保護者**;	首里高校	大学入試改革の概要説明;沖縄大学;	まあ満足	知りたいことがわかったから			もっと詳しい入試情報 受験科目など		
41	高校3年生;**保護者**;	首里高校	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;沖縄大学;琉球大学;	まあ満足	**各大学の入試について、高3の娘と共有できた。**			沖縄国際大学のプレゼンテーションが良かった。		
42	高校1年生;**保護者**;	向陽高校	名桜大学;琉球大学;	普通						
43	申し込んだが，何らかの理由で参加できなかった									
44	高校2年生;	那覇西高等学校	大学入試改革の概要説明;沖縄県立看護大学;琉球大学;沖縄大学;	満足	初めての大学受験で、何も分からないところからのスタートでしたので、受験の仕組から丁寧に説明が聞けました。また、各学校説明も、チャットにてご回答もいただけたので、とても有意義な時間でした。 Web開催で外出することなく参加出来るのも大変良かったです。			**Web開催なので、遠慮なく質問が出来ました。**	**初めて存在を知ったので、もっと宣伝すべきだと思います。（良い意味で、です）**	
45	高校2年生;**保護者**;	首里高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	まあ満足	オンラインで開催してくれたこと、資料があったこと			各学部の紹介。時間がかかると思うので そこも選択制にしてオンライン配信してもらえるとより具体的にきけたかなと	学部生、卒業生などの体験談	
46	高校3年生;	那覇高校	沖縄キリスト教学院大学;沖縄キリスト教短期大学;沖縄国際大学;沖縄大学;	まあ満足	大学がどのようなところかわかった					
47	高校3年生;**保護者**;	宇和島東高等学校	大学入試改革の概要説明;名桜大学;琉球大学;	まあ満足	質問内容に答えて貰えた点			所々音声が途絶えたので、スムーズに進行できれば良かったと思います。	沖縄県のコロナ対策。リモート授業の割合を教えて欲しいです。	
48	教員;	泊高校通信席課程	沖縄キリスト教学院大学;沖縄県立芸術大学;	まあ満足	周囲の職員と意見交換しながら参加できるwebの良さが出た					
49	高校2年生;	名護高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足						
50	高校3年生;**保護者**;	那覇高校	琉球大学;	満足				**今年度から大学入試が大きく変わると言われていた中、コロナにより学校に行けない期間があり、入試試験の出題範囲やどの程度、試験の方法が変わるのか、不安がありました。今回、参加させていただき不安が払拭され、また希望の大学の先生から話を伺う事が出来て、大学で学ぶことのワクワク感も増しました。**		

ID	本日ご参加いただいた方	高校名(保護者は子の高校名)	あなたが参加したセクションを全てお選びください。	会はいかがでしたか？	どのような点が「満足」「まあ満足」でしたか？	どのような点が改善されると「満足」「まあ満足」していただけそうですか？	どのような点が「不満」「やや不満」でしたか？	本日の説明会に参加したご感想やご意見をお書きください。「ここがよかった」「こういった情報があるとよりよかった」等，具体的に教えていただけると幸いです。	大学コンソーシアム沖縄について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。	沖縄県高等学校PTA連合会について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。
51	**保護者**;	昭和薬科大学附属高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	多用されているカタカナ用語を何となく理解していたつもりでしたが、今回丁寧に説明していただいたのでよかった。 画面を通しての説明なので、短文でわかりやすく工夫されてるのがよかった。			ズームでの説明会は当初抵抗があったが、参加してみて非常に良かった。 会場に足を運んでの会もいいが、時間的に効率がよく、要点も把握し易かった。 ぜひまた参加したいです。		
52	高校2年生;	陽明高校	沖縄県立芸術大学;沖縄大学;琉球大学;	満足	実際に質問できるところ			**オンラインだからこそ、質問がしやすかった**		
53	**保護者**;高校2年生;	首里高校	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;名桜大学;琉球大学;	まあ満足	入試改革についてや、各大学の説明が聞けたこと。また、沖国大に関しては、高校と大学の違い、大学での過ごし方などについても説明があったのでとてもよかった。どの大学の入試制度もわかりやすく説明してもらえたこと、注意点・変更点などの説明もあり、とても役に立った。			WEBでの開催でしたが、自宅でゆっくり講演をきけたのでよかった。		
54	高校1年生;	首里高校	沖縄県立看護大学;	満足	分かり易かった			学校のイメージが分かった	**同様の情報提供を続けて欲しい**	**同様の情報提供を続けて欲しい**
55	教員;	読谷高校	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;名桜大学;琉球大学;	満足	入試制度の概要や大学入学共通テストについての説明も丁寧で、とても分かりやすかった。			**各大学の説明会は大学の特色なども紹介していて、大学選びで迷っている人の参考になったように感じた**。また、質疑応答の時間も十分にとられていたので参加者の満足度は高いように思う。ただ、質疑応答では最初の質問が届くまで時間をロスしていたので、事前にいくつか質問を募っていてもよかったように思った。		**内容がとても充実していて、毎年実施してほしい**と思いました。ぜひご検討よろしくお願いします。
56	**保護者**;	向陽高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	山田さんの話が分かりやすかった。 お疲れ様でした。					
57	高校2年生;	名護高等学校	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;名桜大学;琉球大学;	まあ満足	質疑応答の時間が少ない大学があった			入試改革の話がよかった		
58	高校3年生;**保護者**;	向陽高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	まあ満足	先生のお話も聞き取りやすかったですし、 私がしたかった質問もチャットで質問されてたので、事前にわかってやりやすかったです。			**チャットでの質問だったので、普段よりも沢山の質問があったように感じました**。 私も聞きたい事が聞けたので今後もzoomでの説明会開催等を希望したいと思いました。	録画してもいいかわからなかったので、今後、録画も大丈夫だと素晴らしいと思います。後で見れると助かります。	
59	高校1年生;**保護者**;	向陽	大学入試改革の概要説明;琉球大学;沖縄大学;	普通		沖縄大学が事前作成された映像を使っていた。内容的にはわかりやすく大学のHPからいつでも見れられるような資料としては有り難いが、リアルタイムにオンラインで見ているのだから、生の声で向き合ってもらえると良かったです。また学生トークのアイディアは良かったです。緊張されていたのか聞き取りにくい場面があり、内容が今回のテーマにそってもう少し充実していたらとなお良いと思いました。今回は少し受験生の心情と温度差を感じました。		琉球大学の説明がわかりやすくためになりました。前回受験した受験生の声....どういうところに気をつけたり、頑張ったりしたら良いみたいなアドバイスが各大学のHPなどに掲載されていたらなと思いました。	入試を身近に感じることができました。ありがとうございました。	よい機会をありがとうございました。
60	高校1年生;**保護者**;	名護高校	沖縄県立看護大学;名桜大学;琉球大学;	まあ満足	現時点での募集要項が確認できて良かった			詳しく募集要項を知ることができてよかったです。	これからも、変更事項があればよろしくお願いします	コロナ禍で進学へも影響がでてくると思いますので、進学情報を各高校の学生へ伝わるよう発信していただきたいですよろしくお願いします
61	高校3年生;**保護者**;	向陽高校	琉球大学;	まあ満足	チャットでの質疑応答で分かりやすかった。他の方の質問を見てきずかされる事があったので良かった。					
62	高校1年生;	沖縄県立具志川高等学校	沖縄県立看護大学;名桜大学;琉球大学;	まあ満足	共通テストになり変更になった部分やそのままの部分がわかった。その他質問も満足いく返信内容でした			はやいうちから大学について説明を聞き興味が深まった	**毎年やってほしいです、**	もっとこういった活動を頑張ってほしいです！

ID	本日ご参加いただいた方	高校名(保護者は子の高校名)	あなたが参加したセクションを全てお選びください。	会はいかがでしたか？	どのような点が「満足」「まあ満足」でしたか？	どのような点が改善されると「満足」「まあ満足」していただけそうですか？	どのような点が「不満」「やや不満」でしたか？	本日の説明会に参加したご感想やご意見をお書きください。「ここがよかった」「こういった情報があるとよりよかった」等，具体的に教えていただけると幸いです。	大学コンソーシアム沖縄について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。	沖縄県高等学校PTA連合会について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。
63	高校3年生;**保護者**;	球陽高校	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;琉球大学;	満足						
64	**保護者**;	向陽高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	zoomでの説明会、初めてで心配でしたが‥何とか聞けて良かったです。			分かりやすかったので説明の途中に子供にも招待したかったのですが‥上手く操作できなかった。ラインがあれば助かります。		
65	高校3年生;**保護者**;	知念高校	大学入試改革の概要説明;沖縄キリスト教学院大学;沖縄国際大学;琉球大学;	満足	**・初めの概要説明では、大学入試制度の疑問や不安に対して、わかりやすく解説してくれた。** ・沖縄国際大学では、自由と責任という点や、実際に入学したあとの時間割や年間のスケジュールイメージを説明してくれた。 ・琉球大学では、Web参加者からのチャット質問に、全部答えて下さっていた。 ・キリ大では、個別の質問にやさしく答えてくれた。先生と生徒の距離感が近く、学業や進路、留学など様々なサポート体制があることを丁寧に説明してくれた。			基本的に、満足しています。やはり、学部学科が多い学校では全体的な説明になってしまうので、学部ごとの窓口とかがあっても良いのではと思いました。	**受験直前でしたが、漠然とした不安感から前向きな目標へと変化するきっかけとなる説明会でした。** Web上での大きなトラブルもなく、開催して頂けたことに、大変感謝しています。	素晴らしい企画をありがとうございます。この説明会を知らない保護者も多いように感じました。ますますの広報を宜しくお願いします。
66	**保護者**;	首里高校	大学入試改革の概要説明;	やや不満			琉大の説明会に準備中の表示で入れなかった			メールで情報が来たので知る事が出来てよかった
67	高校1年生;**保護者**;	那覇国際高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	なんとなく知ってる曖昧な部分が、よく理解でした			質問などを聞いて、更に勉強になりました。		
68	教員;高校2年生;	沖縄県立泊高等学校通信制課程	沖縄キリスト教学院大学;沖縄キリスト教短期大学;沖縄県立芸術大学;	満足	各大学の説明がわかりやすかったです！				とても良い企画だったと思います！是非今後も続けてほしいです。	
69	高校2年生;**保護者**;	**八重山高等学校**	琉球大学;	満足	**・学校案内のパンフレットを見て、疑問に思っていたことを大学側にお聞きしたいと思っていたのです** **が、説明会でお聞きすることができ、ほっとしました。入試合格に向けて親子で対策を練りがんばってきたいです。**どうぞよろしくお願いいたします。説明もわかりやすかったです。			**・チャットに質問を入れると答えてくださり感謝でした。オープンキャンパスは、離島からはなかなか参加できませんが、オンラインだとどの地域の人も公平に参加できありがたい取り組みでした。**	なし。	なし。
70	高校2年生;	陽明高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	学科について詳しく知ることが出来、 また共通テストや推薦入試などについても改めて理解することができた					
71	高校3年生;**保護者**;	読谷高校	沖縄大学;	満足	コロナ渦の中で、直接学校へ行く機会も減り、Web説明会は大変ありがたいと感じた			上記内容と同じ		
72	高校1年生;	向陽高校	大学入試改革の概要説明;沖縄県立看護大学;琉球大学;	満足	学べるカリキュラムが分かりました。			zoomで参加できることが、良かったです	ありがとうございました。	
73	申し込んだが，何らかの理由で参加できなかった								当日は申込みして、視聴し始めた所でしたが、移動中のため、Wi-Fi環境が良好でなく、ほとんど見れませんでした。 せっかくの機会でしたが、残念です。 できれば、１月か２月に再度実施していただきたく思います。 よろしくお願いします。	上記について、是非ご尽力願います！
74	高校2年生;**保護者**;	開邦高校	大学入試改革の概要説明;琉球大学;	満足	・入学後も資格取得をはじめ、留学や科目、専攻の仕方により学び方が沢山あるということが分かった。(あらかじめ副専攻がプログラムとして用意されていることや、加えて自由に選択できる科目もある等) ・提携校が沢山あることにより安全で広く学べることも分かった ・開学の経緯や世界に開かれた大学であることを知ることにより、琉球大学で学ぶことの意義を改めて認識した。 以上、モチベーションアップにつながりました!!				とても良かったので、特にありません。	こういう開催は大変ありがたいです。ありがとうございました。

ID	本日ご参加いただいた方	高校名(保護者は子の高校名)	あなたが参加したセクションを全てお選びください。	会はいかがでしたか？	どのような点が「満足」「まあ満足」でしたか？	どのような点が改善されると「満足」「まあ満足」していただけそうですか？	どのような点が「不満」「やや不満」でしたか？	本日の説明会に参加したご感想やご意見をお書きください。「ここがよかった」「こういった情報があるとよりよかった」等，具体的に教えていただけると幸いです。	大学コンソーシアム沖縄について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。	沖縄県高等学校PTA連合会について，今後の希望やご意見等がございましたら教えて下さい。
75	高校2年生;	陽明高等学校	大学入試改革の概要説明;沖縄国際大学;沖縄大学;	まあ満足	知りたい情報を知ることができました。			同じような画面が長く続いていたので、画像を多く用いたり、動画などで説明するとより面白いと思いました。		
76	保護者;高校1年生;	首里高校	大学入試改革の概要説明;沖縄大学;	まあ満足				事前に参加者に質問を募集してそれに答える質問コーナーみたいなのをやって欲しかった。ずっとベラベラ喋ってると眠くなってしまう。		
77	保護者;	那覇高校	大学入試改革の概要説明;沖縄県立芸術大学;名桜大学;琉球大学;	まあ満足	大学の概要や状況が分かった。			新型コロナ禍の中でもオンラインで開催してもらって良かったと思う。		今後もオンライン等を活用しながら情報提供・共有を図っていただきたい。

資料５－１

大学コンソーシアム沖縄　法人活動について（案）

令和３年度以降の大学コンソーシアム沖縄の法人活動は以下のとおり

Ⅰ　令和３年度以降の実施事業

１　連携による人材育成事業
- ①　トビタテ！留学ＪＡＰＡＮ　地域人材コース
- ②　世界ウチナーンチュ学生サミット～教育連携～
- ③　キャリア教育（インターンシップ）～教育連携～
- ④　単位互換～教育連携～

２　地域課題対応事業
- ①　子どもの居場所学生ボランティアセンター

３　ＦＤ・ＳＤ事業
- ①　教育の質保証に関する合同ＦＤ～教育・研究連携～
- ②　大学職員合同研修ＳＤ～教育・研究連携～

４　生涯学習事業
- 県民向け公開講座

５　ＳＤＧｓ達成に資する事業
- 上記１～４の事業を中心に取り組む

６　その他事業等
- ①　合同学生募集活動
- ②　情報交換

Ⅱ　法人の運営体制
- １　規程の整備
- ２　事務局体制の整備（人事交流を含む）及び公益法人化について

Ⅲ　検討事項
- １　「地域連携プラットフォーム」の検討
- ２　国公私立の枠組みを越えた連携の仕組みの検討

資料５－２

大学コンソーシアム沖縄　法人活動の新規提案について（案）

１．大学コンソーシアム沖縄の SDGs への取り組みについて

背景：SDGs への対応は、個人や法人等が個別に取り組むことも必要である一方で、沖縄県としては個人や法人等が取組んだ情報等を共有し、幅広く連携を生んでいくことにより、沖縄県の２１世紀ビジョンや振興計画で謳っている「沖縄のあるべき姿」、「沖縄のありたい姿」の実現を目指している。

目的：本法人は、「沖縄県内の大学が、相互に建学の精神を尊重しつつ、有機的連携により教育研究を一層充実発展させ、また産学官の連携により地域社会の活性化と発展に貢献する」ことを目的に設立されており、持続可能な地域社会の発展を実現するため、大学コンソーシアム沖縄間の連携、産学官との連携を通して SDGs の達成に向けて取り組む。

対応：

①おきなわ SDGs パートナーへの登録

・沖縄県では、様々なステークホルダーとのパートナーシップのもと、SDGs の普及啓発に取り組んでいるが、そのパートナーとして大学コンソーシアム沖縄を登録する。（参考資料１参照）

②沖縄 SDGs プロジェクト（ＯＳＰ）への参画

・大学コンソーシアム沖縄が、SDGs を取り組んでいく上で、20 の加盟企業で構成されるＯＳＰにアカデミアとして参画し、SDGs を通して新たな繋がり連携を構築する。（参考資料２参照）

③大学コンソーシアム沖縄で SDGs に取り組むための体制構築

・大学コンソーシアム沖縄において SDGs の取り組みを検討実施するため小編成の組織を設置する。

④大学コンソーシアム沖縄での SDGs 取組みの情報発信

・大学コンソーシアム沖縄での SDGs 取組みをホームページやリーフレットで情報発信するとともに、ＯＳＰへの参画により新聞紙面で情報発信する。

参考資料１

登録申請書（案）

令和　年　月　日

沖縄県知事　あて

住　　所　沖縄県 中頭郡 西原町
字 千原 １番地
商号又は名称　一般社団法人
大学コンソーシアム沖縄
代表者 氏 名　西　田　睦 ㊞

1 貴団体の 事業概要	○一般社団法人　大学コンソーシアム沖縄は、「沖縄県内の大学が、相互に建学の精神を尊重しつつ、有機的連携により教育研究を一層充実発展させ、また産学官の連携により地域社会の活性化と発展に貢献する」ことを目的として、平成２６年９月に設立された。 ○本法人では、**県内の１１の高等教育機関がそれぞれの特長や強み、個性を活かし**た教育の質向上に努めながら、時には直接的に、時にはこれらを複合的に関連させた実施事業を編成し、協働して取り組んでいる。 ○ また、本法人は、**沖縄の多様性・地域性・国際性を念頭に、時代の変化や地域の皆さまのニーズに対応しつつ、地域の発展を目指して、県内高等教育機関が自治体や産業界等と協働して、ふさわしい事業を推進**していくこととしている。 ○主な実施事業 ■グローバル人材育成事業 ■地域課題対応事業 ■生涯学習事業 ■FD・SD 事業　など
2 担当者連絡先	担当者の所属　琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課 企画係 担当者氏名　島　袋　健 電話番号　098-895-8998 ファックス番号　098-895-8185 メールアドレス　chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

3 SDGs の達成に向けた取組	（貴団体における具体的な取組） 1.グローバル人材育成事業 (1)SDGs 達成に貢献するため、沖縄産学官協働人財育成円卓会議が取り組む「トビタテ！留学 JAPAN　地域人材コース」実施への連携協力 (2)SDGs 達成に貢献するため、名桜大学主催の「世界ウチナーンチュ学生サミット」の実施に協力 2.地域課題対応事業 (1) SDGs にも関わる県の「貧困対策委託事業」で「子ども の居場所学生ボランティア事業」の推進 3.生涯学習事業 (1)SDGs 達成に貢献する「県民向け公開講座」の実施 ・例：これまで故中村哲氏（平和医療団日本総院長・ペシャワール会現地代表）による「アフガニスタンに命の水を　～干ばつの大地に用水路を拓く～」のテーマでの平和に関わる講演はじめとして、「引きこもり」、「〇〇〇」などのテーマで講演会を加盟校が主催し、大学コンソーシアム沖縄が協力。 4.FD・SD 事業 (1) SDGs に関わるテーマの講演、シンポジウムの開催 ・例：おきなわ数理・データーサイエンス教育普及事業への連携協力 5.その他 (1) SDGs に関わるその他の取り組み ①親子を対象にした県内大学入試説明会の実施
	（上記取組に関連するゴール及びターゲット） 本法人に加盟する１１の高等教育機関は、それぞれの特長、強みを活かし、協働して上記の取り組みを実施し SDGs ゴールの主なものを以下に示す。 SDGs1：貧困をなくそう ⇐ 3-2-(1) SDGs4：質の高い教育をみんなに ⇐ 3-2-(1)、3-3-(1)、3-4-(1) SDGs5：ジェンダー平等を実現しよう⇐ 3-3-(1),3-4-(1)

	SDGs16：平和と公正をすべての人に ⇚ 3-3-(1) SDGs17:パートナーシップで目標を達成しよう⇚ 3-1-(2)
	（SDGs の取組の社外・団体外への発信） ・上記取り組みの情報発信については、大学コンソーシアム沖縄及び子どもの居場所ボランティアセンターではホームページ及びリフレットにより公表している。 　また、トビタテ！留学 JAPAN　地域人材コースもホームページにより公表している。
	（沖縄２１世紀ビジョンの将来像との関係） 〈将来像１〉　命どぅ宝、ユイマール、イチャリバチョーデーといった精神文化を、大切な地域資源として守りつなげ、普遍的・国際的価値観として世界に発信し、国際交流をはじめ様々な分野に活かす。⇔ 3-1-(2) 〈将来像４〉　平和の発信と世界平和の発信⇔ 3-3-(1) 〈将来像５〉　人権を尊重し、助け合い、支え合える心豊かな社会を目指し、家庭や学校、地域が協働・参画によって沖縄らしい個性をもった人づくりを推進⇔ 3-2-(1) 〈将来像５〉　県内の知的資源やアジアとのネットワークを活用し、沖縄の基幹産業やこれからの有望産業を担う「産業人材」、地域社会づくりをリードする「地域リーダー人材」の育成⇔ 3-1-(1)
	（パートナーシップの見込み等） ・「子どもの居場所学生ボランティア事業」については、既に１１５箇所の居場所と協働・連携しているが、さらに居場所を拡充するよう取り組んでいる。また、沖縄子どもの未来県民会議の一員としてこの活動の展開に協力すると共に、本事業に賛同し、支援頂いている企業等の皆様とのパートナーシップを継続していく。 ・「トビタテ！留学 JAPAN　地域人材コース」についても、事業に賛同し、支援頂いている企業等の皆様とのパートナーシップを継続していく。

4 SDGs の普及に向けた取組	（予定している具体的な取組） 1.グローバル人材育成事業 (1)「トビタテ！留学 JAPAN　地域人材コース」は、沖縄産学官協働人財育成円卓会議へ本法人も連携し、令和 3 年度に実施予定(令和 2 年度はコロナの影響により延期) (2)「世界ウチナーンチュ学生サミット」は、名桜大学で主催本法人も連携（令和 2 年度はコロナの影響により中止） 2.地域課題対応事業 (1) SDGs にも関わる県の「貧困対策委託事業」で「子どもの居場所学生ボランティア事業」は、沖縄子どもの未来県民会議の一員として地域課題解決に協力していく。 3.生涯学習事業 (1)「県民向け公開講座」は、SDGs に関わるテーマの講演会、シンポジウムをコロナの状況を見ながら、オンライン開催含めて実施する。 4.FD・SD 事業 (1) SDGs に関わるテーマの講演会、シンポジウム、研修会、セミナーをコロナの状況を見ながら、オンライン開催含めて開催する。
	（期待されるパートナーシップ） 沖縄県 SDGs 普及パートナー登録制度を活用し、地域の自治体、市民団体、企業等とのパートナーシップを積極的に推進し、SDGs 達成に向けた連携を拡充・強化していく。

※その他提出書類

・団体等の概要（会社概要、事業内容、財務状況）が確認できる資料
（パンフレット等の活用も可能です）

・SDGs の取組を対外的に情報発信していることが確認できる資料
（ホームページやプレスリリース資料のコピー等で結構です）

※申請書は、４ページ以内となるよう御協力ください。

琉球新報　令和３年２月２日（火）２面

パートナー100団体に
県、新たに18団体登録

沖縄からSDGs

県は1日、国際的に取り組みが進む持続可能な開発目標（SDGs）の普及活動を行う「おきなわSDGsパートナー」として新たに18団体の登録式を開いた。本年度は3回目の登録で、パートナーは計100団体となった。

オンラインで登録式が行われ、各団体の代表者が「動植物や人体に影響を与える光害対策を施した照明計画を取り入れた」「サトウキビの絞りかすを使ったかりゆしウェアを作っている」と自社の取り組みを紹介。登録を受けて「地域社会に役立つ取り組みを進展させたい」と抱負を述べた。

玉城知事は「次世代まで持続可能な明るい社会にしていけるよう、一緒に頑張っていこう」と述べた。

追加登録団体は次の通り。▽首里城下町クリニック第一・第二▽あたいぐぁー▽石垣島ビーチホテルサンシャイン▽エー・アール・ジー▽okicom▽沖縄観光コンベンションビューロー▽沖縄タイムス社▽沖縄の未来像研究会▽国建グループ▽高齢・障害・求職者雇用支援機構　沖縄職業能力開発大学校▽タピック沖縄▽照正組▽NPO法人日本スリランカ次世代育成サポート▽光電気工事▽丸正印刷▽琉薬▽RINS TYLE▽ワールドリンク



SDGsパートナーに新規登録された18団体代表者らにあいさつする玉城デニー知事（左端）＝1日、県庁

参考資料２

OSPの概要

「つなぐ」「伝える」でSDGｓを推進

OKINAWA SDGs プロジェクト

概要：

- 沖縄SDGsプロジェクトは、琉球新報社によって企画され、うむさんラボによって運営されている、SDGsに取り組む企業や団体のプラットフォーム

- 現在約30団体が参画しており、隔月のフォーラムやメンバー間の個別のやり取りを通して、各参加者・企業等の取り組みを紹介しているだけでなく、連携に向けた議論を行っている。
  ※Orion、琉球銀行、JAグループ沖縄、JT、沖縄食糧等が参加中
  ※2020年9月時点でアカデミアの参加者はいない

- 過去のカンファレンス内容：
  キックオフイベント「食品ロス」「海の生態系保護」2020/06/19
  第1回「ロジックモデル」 2020/07/17
  第2回「赤土流出」2020/09/18
  第3回「貧困」2020/10/16

OSP参加企業 （琉球新報HP）

OKINAWA SDGs プロジェクトパートナー

OSP参画検討に際しての観点

#	検討テーマ	検討の観点
①	大学コンソーシアムとしてのSDGsの取り組み	• 大学コンソーシアムとしてSDGsに取り組む意義があるか • 取り組む場合、今後どのように大学コンソーシアムメンバー間で連携してSDGsに取り組んでいくか
②	取り組みの方向性	• 県内におけるSDGs関連の取り組みと、大学コンソーシアムとしてのSDGs ⇒琉球新報/うむさんラボ 沖縄SDGsプロジェクト　(OSP) 沖縄県 おきなわSDGsパートナー ⇒沖縄県のプロジェクトは、各団体の取り組みをデータベースにまとめ、万国津梁会議に提言するための活動である一方で、OSPは参加団体の情報交換・最終的な連携を視野に入れ、活動を行っている ⇒両取り組みにハイブリット参画する方針で検討は可能か
③	OSP参画にかかる費用	• 無料参加可 ⇒当初は30～50万の参加費用がかかる想定だったが、OSP事務局長にご相談差し上げ、「アカデミア枠」を設定いただけることが決定
④	大学コンソーシアムとしてのOSPへのかかわり方	• 大学コンソーシアムメンバーのSDGsの取り組みの整理 • 大学コンソーシアムとしてOSPにどのようなかかわり方を実施するか ⇒事例紹介、ワークショップの実施、コンサルティング等

2021/1/28　琉球新報 (21)

「先端研究をビジネス、課題解決へ」

OKINAWA SDGsプロジェクト

SDGs（持続可能な開発目標）に取り組む県内企業・団体のプラットフォーム「OKINAWA SDGsプロジェクト」（OSP、事務局・琉球新報社、うむさんラボ）は2月5日、県内大学のSDGsの取り組みを知るセミナー「先端研究をビジネス、課題解決へ」を開きます。研究者に最先端の研究やその事業化について聞き、地域の課題解決までの連携や道筋を考えます。参加無料です。

【主催】OSP、琉球新報社

【日時】2月5日（金）午後3時開演（2時半開場）、6時まで。

【会場】琉球新報ホール（那覇市泉崎1の10の3）または動画配信（申込時にお選びください）

【登壇者】ナラヤン・ガルジャール氏、吉村正志氏（沖縄科学技術大学院大学）、瀬名波出氏（琉球大学）、伊東昌章氏、三宮一宰氏（沖縄工業高等専門学校）ほか

【詳細、申し込み】特設ページ（QRコードから）

【問い合わせ】OSP事務局（琉球新報社内）☎098（865）5213、平日9時半～午後5時半。

琉球新報　2021年2月6日（土）28面

先端技術で課題解決へ

OSPセミナー 研究者ら議論



トークセッションで意見を交わす登壇者ら＝5日、那覇市泉崎の琉球新報ホール

「OKINAWA SDGsプロジェクト」（OSP、SDGs（持続可能な開発目標）を推進する企業・団体のプラットフォーム事務局・琉球新報社、うむさんラボ）は5日、県内大学のSDGsの取り組みを知るスピンオフセミナー「先端研究をビジネス、課題解決へ」を那覇市の新報ホールで開いた。

動画も中継し、OSPのパートナー団体や一般の人など約100人が会場とオンラインで議論に耳を傾けた。

沖縄科学技術大学院大学のナラヤン・ガルジャールさん、吉村正志さん、琉球大の瀬名波出さん、沖縄工業高等専門学校の伊東昌章さん、三宮一宰さんが、農業や環境問題、新型コロナに対応する医療技術など社会課題の解決につながる研究を報告した。

ナラヤンさんは、世界中で水不足が問題になる中、農業での水の必要量を低減させて肥料にもなる、生ごみから開発したポリマー（高分子）について報告した。

瀬名波さんは、製造業が乏しい沖縄で工学系学生の就職先をつくるため、発電所などから排出される二酸化炭素を回収して海藻の養殖に使う循環型のシステムを開発、ビジネス化したことを説明した。

分かりやすい説明に多くの参加者が「面白かった」と目を輝かせ、今後の連携を期待した。

資料6

２文科高第５７９号
令和２年１０月３０日

各都道府県知事
各指定都市・中核市市長
全国知事会会長
全国市長会会長
公益社団法人経済同友会代表幹事
一般社団法人日本経済団体連合会会長　殿
日本商工会議所会頭
日本労働組合総連合会会長
各国公私立大学長
各公私立短期大学長
各国公私立高等専門学校長
放送大学学園理事長

文部科学省高等教育局長
伯井美徳
（公印省略）

「地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン～地域に貢献し、地域に支持される高等教育へ～」の策定について（通知）

平成30年11月の中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」において、地域における高等教育のグランドデザインの策定をはじめ、地域の高等教育に積極的に関わるという観点から、複数の大学等と地方公共団体、産業界等とが恒常的に対話し、連携を行うための体制として「地域連携プラットフォーム（仮称）」の構築が提言されたことを受け、この度、文部科学省では、同プラットフォーム構築に向けて議論すべき事項等に関するガイドラインを策定しました。

本ガイドラインは、各地域において、複数の大学等と地方公共団体、産業界等とが恒常的に連携を行うためのプラットフォームの構築・運用が円滑に進み、具体的な取組に向けた主体的な議論が行われる際の参考に資するものとなるよう、中央教育審議会大学分科会における議論を経て策定したものです。

各大学等、地方公共団体又は産業界等の関係各位におかれましては、地域連携プラットフォームに関する取組が進捗しましたら、文部科学省WEBサイトに当該取組のURLを掲載するなど広く情報共有を図りたいため、以下担当までお知らせください。

今後各地で、大学間連携のみならず、地域の地方公共団体、産業界等とも恒常的な連携が行われることにより、地域経済・社会の更なる発展に寄与することを期待します。

○地域連携プラットフォームの構築（※文部科学省ウェブサイトへリンク）
（ＵＲＬ）https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/platform/mext_00994.html

【本件担当】
文部科学省高等教育局高等教育企画課
高等教育政策室
電　話：０３－６７３４－３３３２
E-mail：koukyoik@mext.go.jp

地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン

～地域に貢献し、地域に支持される高等教育へ～

令和２年１０月

文部科学省高等教育局

地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン（ポイント）

（※）ガイドラインは、各地域が抱える事情や課題が様々であることを前提として、地域連携プラットフォームの構築に向けて検討する際の参考に資するもの。

【地域連携プラットフォームの必要性と意義】

- 大学等の高等教育機関は**地域の人材を育成し、地域経済・社会を支える基盤**。各地域は、人口減少、産業構造の変化、グローバル化、一極集中型から遠隔分散型への転換といった動きの中で、**地域ニーズを踏まえた質の高い高等教育機会の確保と人材の育成がこれまで以上に重要**。
- **地域の大学等、地方公共団体、産業界等がそれぞれの立場から単独で複雑化する地域課題の解決やイノベーションの創出に取り組むことは限界**。

➢ IT技術等の進化により、**地域においてもデジタル革命など**新しい産業創出やイノベーションを生み出し、**地域経済・社会を革新的に変えるチャンス**。

➢ このため、大学等、地方公共団体、産業界等様々な**関係機関が一体となった恒常的な議論の場を構築**し、**エビデンスに基づき、現状・課題を把握**した上で、**地域の将来ビジョンを共有**し、**地域の課題解決に向けた連携協力の抜本的強化**を図っていくことが不可欠。

大学等にとっては、**地域ニーズを取り入れた教育研究の活性化**や大学間連携の推進、大学等の地域における存在価値の向上

地方公共団体にとっては、大学等の知と人材を活用した**課題解決**や**域内への若者の定着促進**、地域の経済基盤強化と社会の維持・存続

産業界にとっては、**自らのニーズを反映した人材育成**や**共同研究による活性化**、魅力的な雇用の維持・増加

地域連携プラットフォームの体制整備、運営（既存の地域ネットワークや産官学連携の枠組みを活用することも考えられる）

体制整備の考え方

➢ 対象地域：都道府県などの行政単位、生活・経済圏、都道府県を越えた広域ブロック等、地域によって最適な単位を検討

➢ 参画主体：大学等、地方公共団体、産業界等の組織的関与（トップの関与とともにミドル層、キーパーソンが対話に参画）

運営の考え方

➢ 運営：恒常的な運営体制の構築、既存のネットワークの活用も有効（議論の場、企画立案、実行組織等の役割分担、コーディネート・事務局機能）

➢ 予算：参画組織からの会費徴収、国等のプロジェクト予算、企業版ふるさと納税など多様な財源を活用　等



地域連携プラットフォームで共有・議論・実行することが考えられる事項

（※）ガイドラインの参考資料として、地域ごとの大学、人口動態、産業構造の状況など議論の参考として考えられるデータ集を整理し、検討を促す。

地域社会のビジョンの共有、理解の促進

➢ 地域社会、地域産業のビジョン等

➢ 地域の高等教育の果たす役割を再確認　等

地域の現状・課題の共有と将来予測

➢ 大学進学時等の人口動態、地域社会・産業構造、将来予測も含め議論　等

議論することが考えられる事項

➢ プラットフォームにおける共通的な目標、方向性の確認

➢ 目標等を踏まえた行動計画、地域課題の解決策

➢ 地域の高等教育のグランドデザイン　等

課題解決のために実行する事項（例）

➢ 地域課題解決型の実践的な教育プロジェクトの提供

➢ 産業振興、イノベーションの創出

➢ 大学等進学率（特に域内進学率）や域内定着率の向上策

➢ 外国人留学生の受入れや社会人向け教育プログラムの開発　等

地域の高等教育機会と人材の確保 → 高等教育機関との連携による課題解決と地域振興 → 地域社会の維持・活性化

沖縄版地域連携プラットフォームと琉大イノベーションイニシアティブ

地域連携プラットフォームの必要性

① 地域社会は、どのような人材を求めているのか?

② 地域社会は、大学に何を求めているのか?

③ 大学は、地域社会に対し、どのような貢献ができるのか?

↕

産学官による恒常的な議論の場（全体会議･推進会議 of the Platform）

↓

確実な実行と成果（琉大イノベーションイニシアティブ）

↕

地域連携プラットフォームと琉大イノベーションイニシアティブのミッション

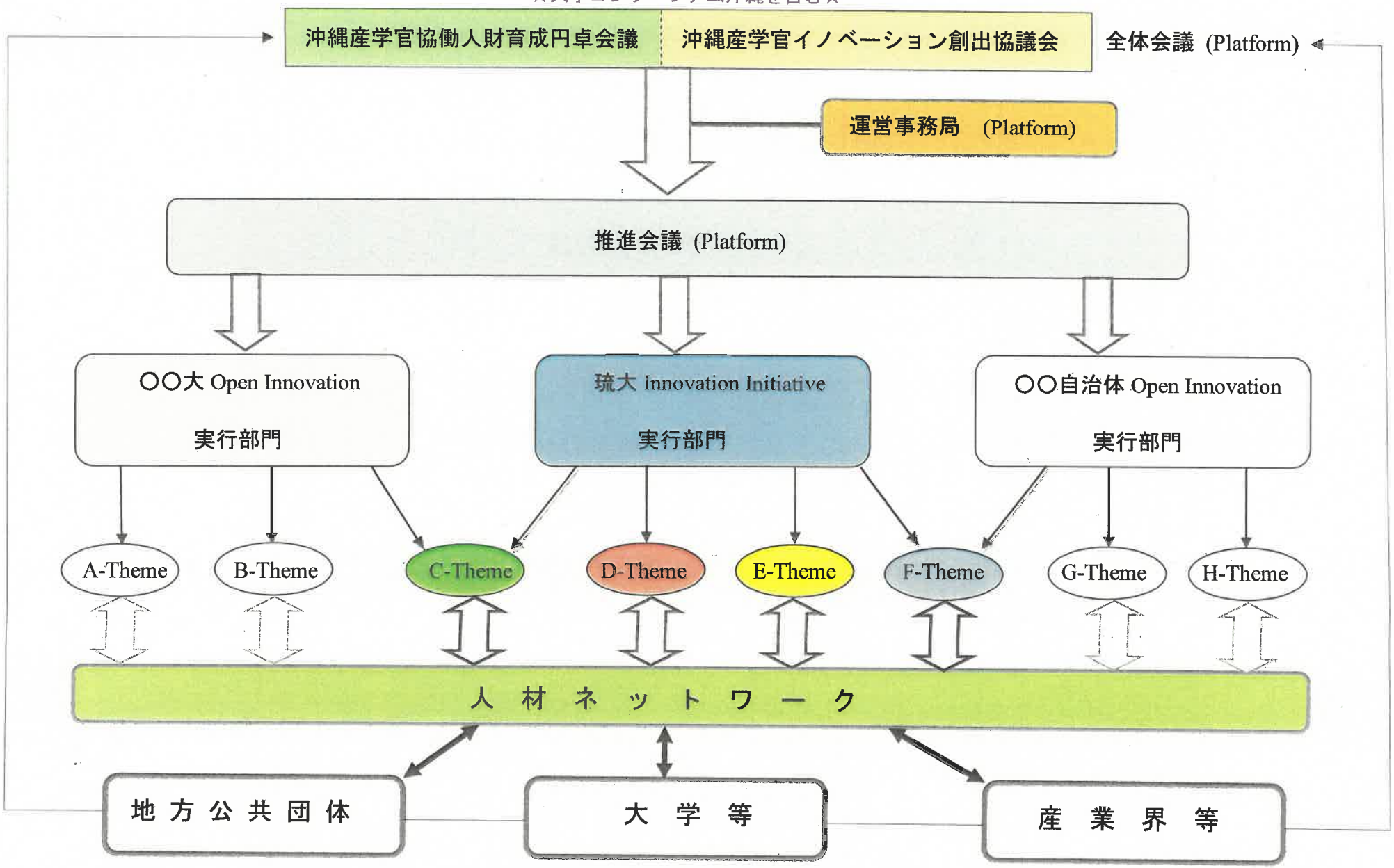
① 地域が求める人材の育成

② 地域課題の解決

③ 新しい付加価値の創造

沖縄版地域連携プラットフォームと琉大イノベーションイニシアティブ

★大学コンソーシアム沖縄を含む★



令和３年度 青少年教育指導者等の養成・研修事業

資料７

とかしきボランティアスクール



法人ボランティア登録

＊法人ボランティア登録後は，全国 28 カ所の国立青少年教育施設での活動が可能となります。

＊法人ボランティア登録後に各施設でボランティアとして活動する場合には，次の費用を支給します。（県内交通費，那覇・渡嘉敷間の船舶代，食費等）

【ボランティアスクールの趣旨】

青少年の自立や健全育成、社会参画を促進するには、「ボランティア活動」が重要な役割を果たすことは周知のことである。青少年教育施設は、自然体験活動や集団宿泊活動を通して、未来を担う青少年に対して、「社会で生きる力」及び「新しい社会を築く力」を養うことを教育の目的としている。

本事業は、これからボランティア活動を始める方々を対象に、ボランティア活動への理解を深め、ボランティア活動に向けた期待と意欲を高めるとともに、必要な基礎知識や技能を習得させることを教育事業のねらいとしている。当所の特色である美しい「ケラマブルーの海」を活用した魅力ある活動プログラムとなっている。

なお、本事業を修了し、ボランティア登録した者は、国立青少年教育振興機構の「法人ボランティア」として、自主企画事業の実施や教育事業等へ参画することを通して、学びと活動の循環を経験しながら成長することができる。

自然豊かなとかしき島で‘ボランティア’はじめませんか？



大型カヌー体験
（海洋研修）



野外炊事研修



講座、実習でボランティア活動の基礎（知識と技能）を学びます

期　日　2021 年

5/15（土）▶5/16（日）1 泊 2 日

ところ　渡嘉敷村（那覇からフェリーで約 70 分）

国立沖縄青少年交流の家

申し込みはこちらから

対　象　ボランティア活動、自然体験活動に興味、関心のある

高　校　生　以　上　の　方

申込み前に、必ずHP掲載の「開催要項」を確認ください。
申し込み定員に達し次第、募集終了します。

【問合せ先】　独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立沖縄青少年交流の家

マリンブルーこくりつ 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家

TEL　098−987−2306　FAX　098−987−2318

HP: https://okinawa.niye.go.jp/　E-mail：okinawa@niye.go.jp

令和３年度　青少年教育指導者等の養成・研修事業

とかしきボランティアスクール

1	主　　催	独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立沖縄青少年交流の家
2	実 施 日	令和３年５月１５日（土）～５月１６日（日）〔予備日：５月２２日（土）～ ２３日（日）〕 ※実施日において、船舶欠航等の場合は、予備日に延期します。 ※予備日において、船舶欠航等の場合は、沖縄県立糸満青少年の家にて実施します。
3	後　　援 （予定）	沖縄県教育委員会、渡嘉敷村、渡嘉敷村教育委員会、琉球大学、沖縄国際大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄キリスト教短期大学、名桜大学、沖縄県立看護大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、OIST、沖縄工業高等専門学校、琉球新報社、沖縄県専修学校各種学校協会
4	申込期間	令和３年４月１６日（金）９時　～　令和３年４月３０日（金）１４時 ※定員に達し次第募集終了
5	申込方法 申込み前に、必ずHP掲載の「開催要項」を確認ください。	沖縄青少年交流の家HPに掲載の申込フォームより、必要事項を記入し、申し込みください。 （メール、FAXでの申込希望の方は別紙申込用紙に必要事項を記入の上ご送信ください。また、お手数ではございますが、受信確認のお電話を当所までかけていただき、申し込み内容のご確認をお願いいたします。）
6	場　　所	国立沖縄青少年交流の家　（予備日船舶欠航時：沖縄県立糸満青少年の家）
7	対　　象	ボランティア活動、自然体験活動に興味、関心のある高校生以上の方
8	定　　員	３０人程度　※定員に達し次第募集終了
9	持 ち 物	○体調管理シート　○マスク（２枚以上）　○体温計　○マイカップ　○スリッパ　○着替え　○帽子 ○水着・上下（ぬれても良い服）　○サンダル　○筆記用具　○カッパ（セパレートタイプが望ましい） ○タオル　○健康保険証　○洗面入浴用具（歯ブラシ、シャンプー、石けん等）　○常備薬 ○日焼け止め　○その他必要なもの ※金品や貴重品は各自で管理してください。携帯電話・スマホ、カメラ等について、研修活動中は原則、使用禁止です。 ※海洋研修中は、ラッシュガード等を着用し、肌が露出しないようにしてください。※野外炊事研修は、長袖・長ズボン・靴でご参加ください。
10	費　　用	参加費（食事代・保険代・シーツ代・教材費・雑費等）3,600円＋バス代1,500円程度 ＋ 船舶代3,310円
11	日　　程	

とかしきボランティアスクール

| | | |

参考資料１

定　　款

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄　定款

第１章　総　則

（名称）

第１条　本法人は、一般社団法人大学コンソーシアム沖縄と称し、英文では General Incorporated Association University Consortium Okinawa と表示する。

（事務所）

第２条　本法人の主たる事務所を沖縄県中頭郡西原町に置く。

第２章　目的及び事業

（目的）

第３条　本法人は、沖縄県内の大学が、相互に建学の精神を尊重しつつ、有機的連携により教育研究を一層充実発展させ、また産学官の連携により地域社会の活性化と発展に貢献することを目的とする。

（事業）

第４条　本法人は、前条の目的に資するため次の事業を行う。

1. グローバル人材の育成
2. 単位互換
3. 学生間の連携・交流
4. 共同研究
5. 教職員の研修、交流及び情報交換
6. 小中高大連携活動
7. 公開講座（県民フォーラム・出前講座）
8. 産学官連携
9. 各種の地域社会貢献
10. その他前各号に掲げる事業に附帯または関連する事業

第３章　社　員

（会員）

第５条　本法人は、次の会員をもって構成する。

（１）　正会員　本法人の目的に賛同して入会した沖縄県に所在する大学、短期大学、及び高等専門学校

（２）　賛助会員　本法人の目的に賛同し、その事業を支援する組織または団体

２　前条の会員のうち正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）上の社員とする。

（入会）
第６条 正会員又は賛助会員として入会しようとする者は、本法人所定の入会申込書により申し込み、全理事の承認があったときに正会員又は賛助会員となる。
（会費）
第７条 正会員は、社員総会において別に定める会費を納入しなければならない。
２　賛助会員は、社員総会において別に定める賛助会費を納入しなければならない。
（任意退会）
第８条 会員は、本法人所定の退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。
（除名）
第９条 会員が次のいずれかに該当するときは、社員総会において、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の３分の２以上に当たる多数の決議をもって、当該会員を除名することができる。

1. この定款その他の規則に違反したとき。
2. 本法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
3. その他除名すべき正当な事由があるとき。

（会員資格の喪失）
第１０条 前２条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するときは、その資格を喪失する。

1. 第７条の納入義務を３年以上履行しなかったとき。
2. 総正会員が同意したとき。
3. 死亡し、又は解散したとき。

第４章　社員総会

（構成）
第１１条 社員総会は、すべての正会員をもって構成する。
（開催）
第１２条 本法人の社員総会は、定時社員総会及び臨時社員総会とし、定時社員総会は、毎事業年度の終了後３か月以内に開催し、臨時社員総会は、必要に応じて開催する。
（開催地）
第１３条 社員総会は、原則として主たる事務所の所在地において開催する。
（招集）
第１４条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事の過半数の決定に基づき代表理事が招集する。
２ 社員総会の招集通知は、会日より１週間前までに社員に対して発する。

（議長）
第１５条 社員総会の議長は、代表理事がこれに当たる。
（議決権）
第１６条 社員総会における議決権は、正会員１名につき１個とする。
（決議）
第１７条 社員総会の決議は、法令又は定款に別段の定めがある場合を除き、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該正会員の議決権の過半数をもって行う。
２ 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の３分の２以上に当たる多数をもって行わなければならない。
⑴ 会員の除名
⑵ 理事の解任
⑶ 定款の変更
⑷ 解散及び残余財産の処分
⑸ 合併及び事業の全部又は重要な一部の譲渡
⑹ 基本財産の処分
⑺ その他法令又はこの定款で定める事項
３ 理事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第１項の決議を行わなければならない。
（代理）
第１８条 社員総会に出席できない正会員は、他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。この場合においては、当該正会員又は代理人は、代理権を証明する書類を本法人に提出しなければならない。
（決議・報告の省略）
第１９条 理事又は正会員が、社員総会の目的である事項について提案をした場合において、その提案について、正会員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。
２ 理事が正会員の全員に対して社員総会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を社員総会に報告することを要しないことについて、正会員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の社員総会への報告があったものとみなす。
（議事録）
第２０条 社員総会の議事については、開催の日時及び場所、議事の経過の要領及びその結果、その他の一般法人法施行規則第１１条第３項及び第４項に定める事項を記載又は記録した議事録を作成し、議長及び出席した理事がこれに署名若しくは記名押印又は電子署名をし、社員総会の日から１０年間主たる事務所に備え置く。

（社員総会規則）
第２１条 社員総会に関する事項については、法令又はこの定款に定めるもののほか、社員総会において定める社員総会規則による。

第５章 理事及び顧問

（理事）
第２２条 本法人の理事の員数は、２名以上とする。
２ 理事は、社員総会の決議によって選任する。
（代表理事等）
第２３条 理事のうち、１名を代表理事、１名を副代表理事とする。
２ 代表理事は、社員総会の決議によって選定する。
３ 副代表理事は、代表理事が指名する者とする。
（理事の任期）
第２４条 理事の任期は、選任後２年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。
２ 任期満了前に退任した理事の補欠として選任された理事の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
（理事の職務及び権限）
第２５条 理事は、法令及びこの定款の定めるところにより、その職務を執行する。
２ 代表理事は、本法人を代表し、その業務を統括する。
（解任）
第２６条 理事は、社員総会の決議によって解任することができる。
（顧問）
第２７条 本法人に顧問を置くことができる。
２ 顧問は、代表理事が指名する者とする。
（報酬等）
第２８条 理事及び顧問の報酬、賞与その他の職務執行の対価として本法人から受ける財産上の利益は、社員総会の決議によって定める。

第６章 資産及び会計

（事業年度）
第２９条 本法人の事業年度は、毎年４月１日に始まり翌年３月３１日に終わる。
（事業計画及び収支予算）
第３０条 本法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに代表理事が作成し、直近の社員総会において承認を得るものとする。これを変更する場合も、同様とする。

２ 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、代表理事は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。
３ 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。
（剰余金の不分配）
第３１条　この法人は、剰余金の分配を行わない。

第７章 事務局

（事務局）
第３２条 本法人の事務を処理するため、事務局を設置する。
２ 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
３ 事務局長及び重要な職員は、全理事の承認を得て代表理事が任免する。
４ 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

第８章　定款の変更、合併及び解散等

（定款の変更）
第３３条 この定款は、社員総会における、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の３分の２以上に当たる多数の決議によって変更することができる。
（合併等）
第３４条 本法人は、社員総会における、総正会員の半数以上であって、総正会員の３分の２以上に当たる多数の決議により、他の一般法人法上の法人との合併又は事業の全部若しくは一部の譲渡をすることができる。
（解散）
第３５条 本法人は、一般法人法第１４８条第４号から第７号までに規定する事由によるほか、社員総会における、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の３分の２以上に当たる多数の決議により解散することができる。
（残余財産の帰属）
第３６条　この法人が、清算する場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第５条第１７号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第９章 公告の方法

（公告の方法）
第３７条 本法人の公告は、本法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法による。

第１０章　附則

（最初の事業年度）

第３８条 本法人の設立初年度の事業年度は、本法人の成立の日から平成２７年３月３１日までとする。

（設立時の役員等）

第３９条 本法人の設立時理事及び設立時代表理事は、次に掲げる者とする。

設立時理事　ドーファン・ジョナサン・マニ
山里　勝己
大城　肇
大城　保
鎌田　佐多子
伊東　繁
仲地　博
中原　俊明
瀬名波　榮喜

設立時代表理事
※住所の記載については、削除している。
瀬名波　榮喜

（設立時社員の名称及び住所）

第４０条 設立時社員の名称及び住所は、次のとおりである。

沖縄県国頭郡恩納村字谷茶１９１９番地１
設立時社員　学校法人沖縄科学技術大学院大学学園
沖縄県名護市字為又１２２０番地の１
設立時社員　公立大学法人名桜大学
沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
設立時社員　国立大学法人琉球大学
沖縄県宜野湾市宜野湾二丁目６番１号
設立時社員　学校法人沖縄国際大学
沖縄県那覇市長田二丁目２番２１号
設立時社員　学校法人嘉数女子学園
東京都八王子市東浅川町７０１番２
設立時社員　独立行政法人国立高等専門学校機構
沖縄県那覇市字国場５５５番地
設立時社員　学校法人沖縄大学
沖縄県中頭郡西原町字翁長７７７番地
設立時社員　学校法人沖縄キリスト教学院

（設立時の顧問・事務局長）

第４１条　本法人の設立時の顧問及び事務局長は、次に掲げる者とする。

顧　　問　ロバート・バックマン

事務局長　日笠　誠

（法令の準拠）

第４２条 本定款に定めのない事項は、すべて一般法人法その他の法令に従う。

附　則（平成２６年９月２６日）

この定款は、平成２６年９月２６日から施行する。

附　則（令和２年６月１９日）

この定款は、令和２年６月１９日から施行する。

参考資料２

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄役員等

〇代表理事、理事、顧問

（２０２０年４月１日現在）

No	氏　　名	大学・役職	大学コンソーシアム沖縄役職
１	西田　睦	琉球大学長	代表理事
２	砂川　昌範	名桜大学長	理事
３	金　永秀	沖縄キリスト教学院大学長 沖縄キリスト教短期大学長	理事
４	盛口　満	沖縄大学長	理事
５	平田　美紀	沖縄女子短期大学長	理事
６	前津　榮健	沖縄国際大学長	理事
７	波多野　泉	沖縄県立芸術大学長	理事
８	嘉手苅　英子	沖縄県立看護大学長	理事
９	伊原　博隆	沖縄工業高等専門学校長	理事
10	グルース・ハインリッヒ・ピーター・ホースト	沖縄科学技術大学院大学長	理事
11	ロバート・バックマン	沖縄科学技術大学院大学 主席副学長	顧問
12	瀬名波　榮喜		顧問